

育成する大学。



を学ぶ。

I Love Gakuen, I want to learn more.

Manabi



〒780-0955 高知県高知市旭天神町292-26 学生支援課
 TEL 088-840-1664 FAX 088-840-1231

高知学園大学 検索 または 高知学園短期大学 検索
<https://kochi-gu.ac.jp/> <https://www.kochi-gc.ac.jp/>



学校法人高知学園
 高知学園大学
 高知学園短期大学



高知学園大学
 高知学園短期大学



高知学園短期大学
副学長 山下 文一

高知学園大学
高知学園短期大学
学長 近森 憲助

高知学園大学
高知学園短期大学
相談役 小島 一久

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難な時代にあります。また、医療の発達、栄養状態や衛生環境の改善などによって、人生は100年時代を迎えています。ひとりの人間の人生が100年続くとなったとき、自身の働き方や生き方について真剣に向き合わなければなりません。

これからは、ただ単に大学に進学すればよいということではなく、将来の人生設計を見通した大学選びが大切になります。現在、全国には、資格取得が可能な大学はたくさんあります。その中で、単に資格取得を目指すのではなく、来自身身の人生をたくましく切り拓くことのできる、付加価値を有する専門的職業人としての資質を身につけることのできる大学を選ぶことが大切です。

本学では、高知学園の象徴「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛を建学の精神とし、自由と規律を尊び、心理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人の育成をめざし、人々の生活に欠かすことのできない「食」、「教育」、「医療」の関連する分野から構成されています。学びでは、それぞれの専門性を身につけることはもちろんですが、その枠にとどまらず各分野からその専門性に付加価値を身につけることができる数少ない大学の一つです。

さらに実際の授業等においては、きめ細かな少人数教育を通じて、学生一人ひとりの資質・能力をできる限り引き出すとともに、行き届いた学修・進路・就職支援を行っています。その結果、13年連続就職100%を達成しています。

本学には、学生と教職員の間に温かい触れ合いがあり、学生の皆さん一人ひとりと真剣に向き合う学びの喜びが満ちあふれた学校です。将来に向かって、確かな一歩を踏み出すために本学で学びませんか。



教務部長 生島 淳	図書館長 吉村 斉	参与兼学生部長 二宮 久美	情報企画部長 岸 康人	キャリアセンター長 大野 由香
--------------	--------------	------------------	----------------	--------------------



客員教授 湯川 秀樹
(元文部科学省
初等中等教育局視学官)



みなさんが過ごす大学教育課程の中で培う高度な知識や実践力と合わせて、自分が輝けるステージ(未来)のために3つの意欲を育成していきたいと考えています。目的意識を持つこと、学ぶ意欲を持つこと、そして社会に関わる意思を持つこと。学びはいつも味方でいてくれて、あなた自身の大きなチカラになります。学び、それは一生の宝物になります。さあ、一緒に学びましょう。

大学の沿革と建学の精神

History & Philosophy

高知学園大学、高知学園短期大学のあゆみ



創立者
信清 権馬



初代学園長
川島 源司

●江陽学舎を源流として
明治に創設される

1899.4

明治 ● 大正

源流となる
江陽学舎創立



江陽学舎

●高知学園
短期大学誕生

1956.5

1967.1

昭和 ●

学校法人
高知学園へ
組織変更

食物栄養科
設置認可



耐震補強された学舎



充実した実習環境



桜咲くキャンパス

高知幼稚園を
高知学園短期大学
附属高知幼稚園と改称

1995.4

2001.4

平成 ●

保健科に
保健専攻、
歯科衛生専攻
設置

専攻科
応用生命科学専攻
設置

食物栄養科を生活科学学科に、
幼児教育科を幼児保育学科に
科名変更

2005.4

Peace and Fraternity 世界の平和と友愛を願う
世界の鐘



当時の
江陽学舎



開学当時の高知学園短期大学

明治、大正、昭和、平成そして令和へと続く歴史と伝統

学校法人高知学園は、明治32年(1899年)に創立された江陽学舎がその源です。培われた教育と社会貢献の実績を礎として、昭和42年(1967年)に高知学園短期大学が設立されました。

高知学園短期大学は、栄養士養成を中心とした食物栄養科から始まり、衛生検査技師(後の臨床検査技師)の養成を行う衛生技術科、幼稚園教諭や保母(後に保育士)の養成を行う幼児教育科、そして歯科衛生士や養護教諭等の養成を行う保健科を次々と設置するなど、「食」「教育」「医療」から構成される総合的な短期大学として発展してきました。

いずれも実学を主体とした教育を行い、各学科で固有の職業資格(国家資格)を取得して社会に貢献できる人材を送り出してきました。この卒業生たちが高知県内のさまざまな分野で地域社会の発展に全力を注いできました。また、現在も中心的役割を担って活躍しています。

高知学園短期大学としての歴史も50年余を超えました。今日に至るまでの社会のニーズや時代の変化はたいへん激しく、本学もその時代に適した短期大学としての役割を絶えず考えなければなりません。そこで令和2年(2020年)には、科学的根拠に基づく実践力をさらに高めた専門的職業人を輩出するため、高知学園大学が設立されました。これらの発展を遂げる過程で常に支えとなってきたのが建学の精神に掲げられている「世界の平和と友愛の精神」です。

建学の精神「世界の鐘」に刻まれた銘

昭和32年3月、現在の場所(旭ヶ丘)に高知学園が移転した時に、教育の象徴として常に精神的な拠り所となり、永久に記憶の中に生きものと考え「世界の平和と友愛」の願いを込めて、世界25カ国85校のハイスクールからその国の銅貨の寄贈を仰ぎ、それを鑄込んで出来たのが、この世界の鐘です。

平成17年11月には、世界40カ国から贈られた銅貨をもって、初代の鐘の精神を受け継ぎ二代目の鐘が鑄造されました。「この鐘の

音のとどろくところ、永遠の真理と希望にかがやき、世界の平和と友愛にみつ」と刻まれた鐘は、1日2回、澄んだ音色を響かせています。

この銘を建学の精神とし、高知学園短期大学・高知学園大学が誕生しました。そして、人類の福祉と文化の進展に寄与することを教育目的として掲げ、「平和と友愛の精神」を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成することが示され、現在も本学の教育基本方針として受け継がれています。

高知学園大学と高知学園短期大学との連携

高知学園短期大学の生活科学学科(2年制)と医療衛生学科医療検査専攻(3年制)の学科および専攻科を、より高度な専門性を求められる社会のニーズに対応させるため、高知学園大学健康科学部管理栄養学科と臨床検査学科として設置することとし、令和2年(2020年)4月、高知学園大学が誕生しました。

設立当初から核となっている「食」「教育」「医療」を基本とすること

開学した高知学園大学(8号館)



を忘れず、より高度な教育課程を目指して発展してきました。

現在構成されている高知学園大学健康科学部管理栄養学科、臨床検査学科と高知学園短期大学の幼児保育学科、歯科衛生学科、看護学科および専攻科(応用生命科学専攻、地域看護学専攻)とが密接に連携しながら「健康教育」をテーマに高度で幅広い専門性を身につけた人を養成していきます。

育成する 大学。

目的意識を持つ
学ぶ意欲を持つ
そして社会に関わる
意思を持つ

KOCHI GAKUEN
UNIVERSITY

高知学園大学で
I Love Gakuen. I want to learn more.

を学ぶ。

時代の要請に応える 専門的職業人を育成する

健康は、SDG s (持続可能な開発目標)の目標3「すべての人に健康と福祉を」に掲げられているように、私たちが生きていくうえで重要なテーマの1つです。まして現在の新型コロナウイルス感染症による危機的状況下で、私たちは改めて健康の大切さを認識しました。

健康に関する取り組みは、世界中いたるところで様々に行われています。高知県では「日本一の健康長寿県構想」が策定され、「健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる県」を目指して、医療・介護・福祉サービス体制の確立や子育て支援のための環境整備などが実施されています。

私たち高知学園大学は、このような時代の要請に応えるべく、「人類の福祉と文化の進展への寄与」を教育目的とし、食と栄養および臨床検査の分野で、地域社会で活躍できる専門的職業人を育成します。すなわち、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得して、保健・医療・福祉、教育、行政および企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士〔管理栄養学科〕と、生命の仕組みと疾病の成り立ちおよび予防に関する専門的知識と技術を習得して、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師〔臨床検査学科〕です。

大学では、講義・演習・実験・学外実習を通して、健康科学に関する初学者でも着実に学んでいけるよう、基礎から専門まで段階的に高めていく教育課程を編成しています。そして3年次以降には学術論文などを購読して最新の研究を学び、考察を積み重ねながら、自分の意見を発信する演習を進めることで、科学的根拠に基づく実践力を育成していきます。

幅広い学びに支えられた 「人間性」を育成する

コロナ禍に象徴されるように、現代社会は、Volatility(変動制)、Uncertainly(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとって「VUCAの時代」と呼ばれています。私たちが予想できないような社会変化が次々と起こるようになったというものです。

このような時代に専門的職業人として生きていくためには、変化する状況を正しく把握し、柔軟に対応していく適応力が求められます。そのためには、特定の分野の専門性だけでなく、幅広い分野におけるものの考え方「教養」を学ぶことも必要です。

本学では、語学、情報、自然科学をはじめ、ユニークかつ充実した基礎・教養科目が設置されています。世界的な視野で人間

と文化を探究する「平和と友愛論」や「国際文化人間論」および地域の文化や歴史を探究する「土佐の文化」や「土佐の歴史」で、グローバル(glocal=global+local:地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動すること)の素養を身につけます。「経営学基礎」、「マーケティング論」、「メディアと社会」では、組織社会の理解を深めるとともにマネジメント能力を身につけます。

また、キャリア形成科目では、キャリア形成基礎力(感じ・広げる力、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を身につけるとともにコミュニケーションのスキルを向上させていきます。

こうした教養・基礎科目と専門科目の学びを通して、専門職として役割を果たすために必要な職責を果たす強い責任感や正しい倫理観に基づく問題解決能力も育みます。

学科横断・大学一短期大学間の 連携教育で「協働する力」を育成する

高知県の「日本一の健康長寿県構想」を実現させるためには、医師や看護師だけでなく、管理栄養士や臨床検査技師等の医療スタッフも重要な役割を担います。健康的な生活を送るためには食事面の配慮が必要で、医師の診断・治療には臨床検査は欠かせないものだからです。さらに、医療スタッフ同士が互いの役割を理解・尊重しながら、リーダーシップやチームワークを発揮して、協働していくことも不可欠です。

本学では、健康について多様な視点から考察する「健康科学」、災害発生に伴う生活の変化や被災者のこころと身体の健康支援について学ぶ「災害と生活」、医療における他職種との連携のあり方を学ぶ「チーム医療概論」といった科目を学科横断的に開設し、ディスカッションなどを通じて、互いの専門性を理解し、協働する力を育みます。

また、同じキャンパスに高知学園短期大学があり、看護、歯科衛生、幼児保育学科との教員や学生と触れ合うことで、さらなる広い視点から自分たちの専門性の役割を認識することもできます。加えて、短期大学が地域貢献の一環として実践してきた、子どもの健康を支えるための「歯みがき指導」、高齢者を対象とした健康増進に関する「健康教育演習」や「イキイキ健康フェア」といった活動にも参加し、協働による地域貢献を実地に学ぶこともできます。

両学科および高知学園短期大学との協働で気づき学んだ事項を基盤に、さらに洗練して医療技術の高度化と科学的思考に基づく分析を行いながら、地域の特性や現状の理解に基づいた健康支援に貢献する人材を育成していきます。

高知学園大学の教育目的と教育基本方針

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成します。

【教育目的】

高知学園大学(以下「本学」という。)は、建学の精神である「世界の平和と友愛」に基づき、教育基本法及び学校教育法の定めるところに則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究し、実践的な幅広い能力と知的、道徳的及び応用的能力を展開することのできる人材を養成し、もって人類の福祉と文化の進展に寄与することを目的とする。(高知学園大学学則第1条)

【教育基本方針】

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成する。(高知学園大学の教育目的に関する規程第2条)

学科の教育目的

(高知学園大学の教育目的に関する規程第3条)

■健康科学部管理栄養学科

管理栄養学に関する講義・演習・実習を通して、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、保健、医療・福祉、教育、行政及び企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士を養成する。

■健康科学部臨床検査学科

医学及び臨床検査に関する講義・演習・実習を通して、生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師を養成する。

高知学園大学健康科学部が定める学習成果と方針

Our Policy

高知学園大学 健康科学部

■学習成果

高知学園大学では、建学の精神である「世界の平和と友愛」に貢献するため、本学で学ぶことによって獲得する能力を「学習成果」と位置づける。

健康科学部では、教育目的に基づき、科学の力を活用し、人々の健康な生活を支援することで、地域社会はもとより、世界の平和と友愛に貢献する人材を育成するため、本学における教育と学習を通じて次の四つの能力を獲得することができる。

- ①人々が健康な生活を送るために必要な知識と技術を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
- ②社会の状況を積極的に受け入れる柔軟な感性を持ち、周囲に広げていくことで、人々が豊かな生活を送るために必要な最新の知見を導き出し、適切な判断を下すことができる。
- ③仲間と協働しながら専門的知識と技術を活用して創造し、倫理的な観点に基づいて自ら行動することができる。
- ④自分の意見を的確に伝えると同時に、隣接・関連分野の人々からも意見を聴くことによって、相互に理解し尊重し合いながら自分の役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

高知学園大学では、学習成果を獲得することによって、卒業時に期待される人物像を「卒業認定・学位授与の方針」として示す。健康科学部では、人類の福祉と文化の進展に寄与するため、本学の教育と学習を通じて専門職者として、以下の能力を獲得した者に学士の学位を授与する。

- ①人々が健康的な生活を送るために果たすべき役割を自覚し、その実践に必要な専門性に関する知識や技術を身につけた者
- ②社会の状況やニーズを理解し、科学的根拠に基づいた判断による適切な実践力を身につけた者。
- ③行動をするにあたって、責任感と倫理観を身につけた者。
- ④目的達成に向けて、多様な人々と協働し学び続ける力を身につけた者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

健康科学部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた専門的知識や技術の修得と実践力を育み、専門職者としての責任感や倫理観及び他の人々と協働する等の態度を身に付けた人材を育成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

- ①専門的知識・技術を獲得し、それらが持つ社会的意義と役割を理解し、さらに多様な専門分野の人々と協働することができ、責任感や倫理観に基づいた総合的・創造的な実践力を身に付けられるように、講義・演習・実験・学外実習を通して段階的に高めていく教育課程を編成する。
- ②自ら学修上の問題に気づき、その原因を探索して克服しながら成長できる人材を養成するために、具体的な授業内容と到達目標を明確にし、さらに授業以外で学習すべき内容を明確にし、その成果を適切にフィードバックする教育を実施する。そのため、学習ポートフォリオを導入し、学生が自らの学びを振り返り、目標を立てて達成度を確認しながら、学習への主体性を育む教育を実施する。
- ③課題を発見して分析し実践する力の向上を目指してアクティブ・ラーニングを導入し、学生が仲間と議論し協働することや、リーダーシップやチームワークを発揮して主体的に問題解決に取り組む教育を実施する。

- ④学生自身が専門職としての自覚と誇りを持ち、具体的な将来展望を描くことができ、学び続ける姿勢を持てるようなキャリア教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を高知学園大学アセスメント・ポリシーに基づいて客観的かつ厳格に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

健康科学部では、人類の福祉と文化の発展に寄与するために、①熱心に学び、その成果を社会に貢献するために活用すること、②世界の変化や動向を分析し、進歩する知識と技術を求め続けること、③新たな研究に挑戦する心を持っていること、④幅広い世代の人々との人間関係を円滑に結べること、が求められる。そこで、本学部では、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができていない人を入学者として求めている。

- ①深く学び、人々の健康に貢献することを求めている人。
- ②人々の健康を支えるために果たす自分の将来像を考え、自己実現を目指している人。
- ③課題を探索するため、困難な場面においても簡単にはあきらめず、最後までやり遂げようとする強い意志を持っている人。
- ④広い心を保ち、高い理想を実現するために人々と協力し合うことができる人。

■アセスメント・ポリシー

高知学園大学では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル(大学)・教育課程レベル(学部・学科)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を評価する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

- ①機関レベル
本学では、学生を対象とした学生生活に関する調査を実施し、その結果に基づいて、教育課程及び科目の各レベルでの評価と併せ、学習成果の獲得状況を総合的に評価する。さらに、学生の進路決定状況(国家試験合格率、就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率、及び進学率等)、卒業生や卒業生の進路先における取り組み状況を対象に、学習成果の達成状況を評価する。
- ②教育課程レベル
学部・学科の所定の教育課程における免許・資格の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通した学習成果の達成状況を評価する。まず「専門的知識・技術」を身につけ、最新の知見を導き出し適切な判断を下す」ことに関する学習成果(「学習成果①及び②」参照)は、試験やレポート、発表等を中心とした単位修得・成績分布の状況から評価する。また「倫理的な観点から創造し自ら行動する」ことができ、かつ「多様な人々と相互に理解し尊重し合いながら自分の役割を果たす」ことに関する学習成果(「学習成果③及び④」参照)については、学習活動や社会活動への取組状況、学外実習先からの評価、ポートフォリオや面談を通じた自尊感情及び自己課題の明確化等を指標として評価する。
以上の能力を、「教育課程の編成・実施の方針」に示す初年次からの基礎と応用、専門分野における定着と実践、及び「世界の平和と友愛の精神」に基づく人類の福祉と文化の進展へ寄与するための総合的な資質と能力の獲得状況を学習成果として、学期・学年ごと、及び在籍期間を通じて総合的に評価する。
- ③科目レベル
シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケート等の結果から、科目ごとの学習成果の獲得状況及

び達成状況を評価する。評価に当たっては、入学時や学期はじめにおける学習成果の準備状況に配慮した授業計画を立案する診断的評価、進行過程における学生成果の到達状況を把握して迅速なフィードバックと必要に応じた計画の見直しを行う形成的評価、そしてこれまでに獲得した専門的能力及び汎用的能力を総合的に評価する総括的評価を有機的に関連づけながら、積極的に行う。

なお、成績評価は高知学園大学学則第36条に基づき、科目レベルにおける到達目標の達成状況について評価を行う。その際、以下の到達状況を基準として評点で示す。

- a 優(合格)
(a)100～90点:到達目標を達成し、きわめて優秀な成績を修めている。
- (b)89～80点:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
- b 良(合格)
(a)79～70点:到達目標を達成している。
- c 可(合格)
(a)69～60点:到達目標を最低限達成している。
- d 不可(不合格)
(a)59点以下:到達目標を達成していない。

管理栄養学科

■学習成果

管理栄養学科は、食と栄養を通して、人々の健康に貢献するために、医療や社会の様々なニーズに対応できる社会人となるため、次に掲げる能力を獲得する。

- ①健康の保持・増進に貢献するため、食・栄養に関わる専門的知識を適切に活用することができる。
- ②食と栄養に関する知識と技術を獲得し、自らの意見をまとめて適切な情報を発信することができる。
- ③食生活習慣の改善を通して健康増進に寄与するため、自ら課題を立て、その課題解決に取り組むことができる。
- ④食と栄養の重要性を伝えると同時に、関連分野の人々からも意見を聴くことによって、相互に理解し、尊重し合いながら医療や教育など生活全般における自らの役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)

管理栄養学科は、食と栄養を通して人々の健康に貢献するために、医療や社会の様々なニーズに対応できる、次の能力を獲得した者に学士(栄養学)の学位を授与する。

- ①人々の健康的な生活に貢献する地域医療や在宅医療、災害医療等の栄養管理を実践するため、科学的根拠に基づいた高度な専門的知識及び技術を身につけた者。
- ②人々の食生活や食習慣に関する課題の把握・改善に取り組む主体性及び多様な人々に対応できるコミュニケーション能力を身につけた者。
- ③人々の健康的な生活を目指し、専門職としての責任感と倫理観を身につけ、他者の立場を理解し協働できる者。
- ④保健、医療、福祉等において多様な職種の人々と協働し、管理栄養士として中核的役割を果たすために学び続ける力を身につけた者。



■教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

管理栄養学科では、学生が健康科学部のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成する。

- ①食に関わる健康の問題解決を図るための教養教育と専門教育の教育課程を編成する。食と栄養に関する知識と技術を修得し、管理栄養士の社会的な役割を理解するとともに、その知識と技術を活用する応用力・実践力を養う教育を実施する。
- ②健康に関する問題に食と栄養の側面から気づき、その原因を探索して適切な判断と、問題解決を図る活動を取り入れた教育課程を編成する。自ら計画を立てて学習に取り組むようアクティブ・ラーニング等、学生の主体性を育み表現力や傾聴力などを養う教育を実施する。
- ③多様な専門職者と協働することができるように、各種専門職の特徴や役割を理解し、他の専門分野の学生と協働しながら、総合的に健康を学ぶ教育課程を編成する。
- ④チーム医療で必要となる医療業種間の業務の違いや、多様な専門分野の役割を理解するとともに、管理栄養士の医療における役割や立場を理解し、他者と協働するための教育を実施する。学科を超えた共通科目による他職種間連携のフィールドワーク等を取り入れた実践的教育を実施する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

管理栄養学科では、食と栄養の分野から健康で豊かな生活に貢献するため、(1)食と栄養の重要性を考えながら、学習に計画的かつ熱心に取り組むこと、(2)学習内容を活用して実践すること、(3)食と栄養及び健康に強い関心を持ち、最新の食・栄養に関わる理論と技術を学び続けること、(4)仲間とともに自己成長を目指すことが求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができていない人を入学者として求めている。

- ①食と栄養に関する分野に必要な基礎学力を持ち、謙虚な気持ちで学習に取り組む人。
- ②キャリア形成に対する意識を持ち、食と栄養に関する分野で社会貢献を目指す人。
- ③将来への目的意識が高く、健康で豊かな生活を心がけ、実践している人。
- ④多様な人々と協力しながら、主体的に学ぶために必要なコミュニケーション能力を有する人。

高知学園大学健康科学部が定める学習成果と方針

Our Policy

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、調査書等の提出書類及び小論文、面接、プレゼンテーションなどを通して、問題解決能力、多様性、協調性を備え、「人体の仕組みと働きに強い関心を持ち、生命にかかわる分野で社会貢献を目指すこと、思いやりと協調性を有し、多様な人々とコミュニケーションをとることができること」を評価する。また、主体性、思考力、表現力などを問う基礎学力検査や知識・技術、論理力、応用力などを重視する学力試験あるいはプレゼンテーション、面接、提出書類などを通して、「人々の健康を支えるための学習に必要な基礎学力を有し、学習意欲を継続できること、人々が健康に生活できるための知識や技術を学ぶことに強い意志を持つこと」を総合的に評価する。以上の評価をもって、上記の方針に適した人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

「専門的知識」に関する学習成果については、試験及びレポート等によって健康の保持・増進に貢献する知識と技術の獲得状況に基づいて査定する。「情報発信力」に関する学習成果については、発表等によって栄養に関する専門的職業人としてのプレゼンテーション能力の獲得状況に基づいて査定する。

「課題解決」に関する学習成果については、試験、レポート及び発表によって、食生活や食習慣の改善に寄与する実践的能力の獲得状況に基づいて査定する。「相互理解・尊重」に関する学習成果については、学内・学外実習、実験におけるグループ活動よりコミュニケーション能力の獲得状況に基づいて査定する。

以上の各能力について、学年ごとの単位修得・成績分布の状況から、1年次における基礎理論、2年次における応用と実践の獲得状況を学習成果として総合的に査定する。また、本学科の所定の教育課程における管理栄養士免許、栄養士免許、中学・高等学校教諭一種免許状(家庭科)、栄養教諭一種免許状の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通じた学習成果の達成状況を査定する。

臨床検査学科

■学習成果

臨床検査学科では、臨床検査の専門的職業人として実践力や研究能力を有し現代医療に貢献できる人材を養成するため、本学科の教育と学習を通じて次に挙げる能力を獲得することができる。

- ①広い視野を持った臨床検査技師として、地域住民に幅広い医療を提供するために、専門性の高い知識と技術を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
- ②最新の知見を収集して活用し、社会の状況から見出した医療および臨床検査分野の課題の解決に向け、適切に判断することができる。
- ③地域医療の発展に寄与できる研究的視点を持つ、倫理的視点を踏まえ、専門的知識や技術を自ら活用することができる。
- ④多様な人々と互いの立場を尊重しながらコミュニケーションを図り、専門的職業人として臨床検査技師に求められる役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

臨床検査学科は、豊かな教養と人間性を備え、高度化・多様化する現代医療に貢献するために、本学科の教育と学習を通じて生命の仕

組みと疾病の成り立ち及び予防に関する以下の能力を獲得した者に学士(臨床検査学)の学位を授与する。

- ①地域医療や在宅医療さらに災害医療等の幅広い分野で貢献するために、人体の健康状態を解析できる高度な臨床検査の知識や技術を備えた者。
- ②生命を守るために臨床検査分野の課題を探究し、問題解決する実践力を身につけた者。
- ③地域医療の発展のために必要な研究的視点を持ち、責任感と倫理感を身につけた者。
- ④地域や医療の組織の中で臨床検査技師の役割を果たすために、コミュニケーション能力と多様な人々と協働し学び続ける力を身につけた者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

臨床検査学科では、学生が健康科学部ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得することによって、現代医療に貢献できる臨床検査技師を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

- ①保健医療に貢献する人材として、広い視野をもち専門性と責任感を有し問題解決を図ることができるために、教養教育と専門教育を編成する。人体の理解を柱に専門知識や技術の基盤を身につけ、実践力や応用力を養う教育を実施する。
- ②医療人として自己の役割を認識し、更なる成長を果たすため、グループ活動他アクティブ・ラーニングを取り入れるなど、他者との相互理解を深め、目標を立てて主体的に学ぶ教育を実施する。
- ③医療人としての研究的視点を獲得するため、卒業研究やその発表等を通して、創造性、主体性、表現力及び倫理観を育む教育を実施する。
- ④チーム医療で必要となる医療職種間の業務の違いや多様な専門分野の役割を理解するとともに、臨床検査技師の医療における役割や立場を理解し、他者と協働するための教育を実施する。学科を越えた共通科目による他職種間連携のフィールドワークなどを取り入れた実践的教育を実施する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

臨床検査学科では、学生が生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防について習得し、現代医療に貢献するため、(1)臨床検査が果たす役割を考えながら、計画的かつ意欲的に学ぶこと、(2)臨床検査に関する知識を適切に活用して実践するための技術を学び続けること、(3)健康維持と増進に有益な臨床検査に関する最新の知識を学び続けること、(4)多様な人々と協働し、自らの役割を果たすことが求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①人々の健康を支えるための学習に必要な基礎学力を有し、学習意欲を継続できる人。
- ②人体の仕組みと働きに強い関心を持ち、生命にかかわる分野で社会貢献を目指す人。
- ③人々が健康に生活できるための知識や技術を学ぶことに強い意志を持つ人。
- ④思いやりと協調性を有し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる人。

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、調査書等の提出書類及び小論文、面接、プレゼンテーションなどを通して、問

題解決能力、多様性、協調性を備え、「人体の仕組みと働きに強い関心を持ち、生命にかかわる分野で社会貢献を目指すこと、思いやりと協調性を有し、多様な人々とコミュニケーションをとることができること」を評価する。また、主体性、思考力、表現力などを問う基礎学力検査や知識・技術、論理力、応用力などを重視する学力試験あるいはプレゼンテーション、面接、提出書類などを通して、「人々の健康を支えるための学習に必要な基礎学力を有し、学習意欲を継続できること、人々が健康に生活できるための知識や技術を学ぶことに強い意志を持つこと」を総合的に評価する。以上の評価をもって、上記の方針に適した人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

臨床検査学科の所定の教育課程において、卒業要件の達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通じた学習成果の達成状況を評価する。

臨床検査技師としての「専門性の高い知識と技術」に関する学習成

果は、講義・演習における課題の遂行状況や試験やレポートによる単位修得と成績分布状況から評価し、さらに、臨地実習前総合評価実習の取組状況と試験による単位修得で総合的に評価する。

「課題を探究し最新の知見を収集して問題を解決する能力」に関する学習成果は、演習における発表や卒業研究の取組過程や達成状況及び臨地実習における学外実習先からの評価、レポートなどで評価する。さらに、課題探究・問題解決能力は特に病態解析力として病態解析学特論や総合臨床検査学などの症例検討演習での到達度、発表などで評価する。

「国際的視野及び研究マインドと倫理的視点、専門的知識や技術の活用」に関する学習成果は、外国語科目やプレゼンテーションを含む科目の単位修得、さらに、卒業研究の達成状況や、臨地実習における学外実習先からの評価、レポートなどから評価する。

「多様な人々とのコミュニケーション力を持った専門的職業人」に関する学習成果は、地域医療概論やチーム医療概論などの多職種間連携科目での協働状況、臨地実習における学外実習先からの評価などから評価する。



私は 管理栄養士に なる。Manabi

生命の根幹である基本的な
食と栄養について学び、
医療・福祉・教育の現場における
栄養管理の実践力を備えた
管理栄養士を目指します。



健康科学部 Department of Nutrition

管理栄養学科



■管理栄養学科の教育目的

管理栄養学に関する講義・演習・実習を通して、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、保健・医療・福祉・教育、行政及び企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士を養成します。

■管理栄養学科の教育の特色

健康科学部管理栄養学科では、食・栄養を通して人びとの健康に貢献するために、豊かな教養と人間性に溢れ、高い倫理観及び専門的知識・技術を備え、医療や社会の様々なニーズに対応できる管理栄養士の育成を目的としています。

- 保健・医療・福祉におけるチーム医療スタッフとしての役割を理解し、栄養管理の実践力の向上を目指します。
- 管理栄養士の持つ専門的知識・技術を通して、地域住民の健康と生命をサポートし、地域貢献ができる教育を実施します。
- 地域の医療機関との包括的な連携により教育研究を推進し、学生教育にフィードバックします。
- 食育に造詣の深い管理栄養士を養成します。

MESSAGE

管理栄養士だけでなく選択により教員免許も取得できます



健康科学部
管理栄養学科 学科長
渡邊 慶子

近年、高齢化による慢性疾患の増加や疾病構造の変化など、食・栄養に関する対応が複雑化してきており、高度な専門知識や技術を備えた管理栄養士の役割や期待が益々高まっています。そこで、食・栄養のスペシャリストである管理栄養士を養成するために、令和2年度に高知県では初の私立大学としての管理栄養士養成大学が本学に設置されました。

管理栄養士は食・栄養のスペシャリストとして、専門的な知識と技術を持って栄養指導や給食管理、栄養管理を行います。卒業後の活躍の場は、医療施設・福祉施設・学校・行政・企業・教育研究機関など多岐にわたり幅広い分野で活躍できます。

例えば、医療施設で働く管理栄養士は、「栄養サポートチーム」で中心的な役割を担っており、病気の治療効果につなげるために、患者さん個々の病状や臨床検査データ等に基づき、栄養アセスメント、栄養管理を行っています。

その他、学校や企業、保健所などでは、食と栄養の力で地域の健康づくりを推進するために、妊婦から高齢者まで、それぞれのライフステージに合わせた栄養の指導、健康な体づくりの支援などを行います。食・栄養のスペシャリストとして活躍するために、管理栄養学科では、栄養学の基礎から応用栄養

学、栄養教育論、臨床栄養学などの学習により人びとの健康維持・改善につなげるための知識や技術を体系的に学べるようにカリキュラム編成されています。また「チーム医療概論」や「医療リスクマネジメント」など、多職種と協働するための知識や対応力について、同じ健康科学部臨床検査学科の学生と共に学習できるのも本学の特徴です。

更に専門科目以外にも郷土食の探求と継承を目的とした科目「土佐の食文化」や、予測される南海地震に備えた「災害と生活」を学習することで、さまざまなフィールドで活躍できる管理栄養士の養成に力を入れています。その他にも、選択により教職課程を受講することができ、栄養教諭一種免許状、中・高等学校教諭一種免許状（家庭）の資格が取得できますので、卒業後は管理栄養士の資格を有した教職の道も可能なことが本学科の強みです。

新型コロナウイルス感染症も、食と栄養の観点から免疫力を高めウイルスに打ち勝つ体づくりが必要とされています。管理栄養学科では、研究、教育における豊富な実績を持つ教員を数多く配置しておしますので、私たち教員と一緒に人びとの健康を支え、笑顔にできる、キラリと光る管理栄養士を目指してみませんか。



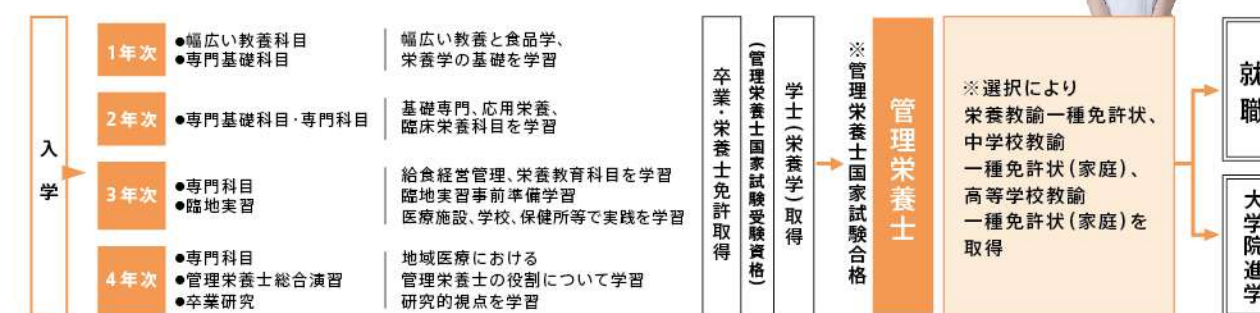
Qualification

取得可能な免許・資格

- 学士（栄養学）
- 栄養士免許証
- 管理栄養士国家試験受験資格
- 栄養教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状（家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（家庭）

CAREER DESIGN

管理栄養学科のキャリアデザイン



卒業と同時に栄養士免許証取得、管理栄養士国家試験の受験資格を取得

※選択により栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得



管理栄養学科
教授
田口 尚弘

大学は、皆さんがこれまで過ごした高校と違い、自主性を重んじた学びの場です。本学科では管理栄養士になるための科目を履修しますが、さらに教職科目も選択でき、自分の将来への選択肢を広げることができます。また、大学は教育とともに、社会に貢献する科学研究を行う場でもあります。本学には多くの高価な研究機器が設置されており、それらの機器を利用して実習・実験や卒業研究を行い、科学の知識（講義で学んだことを含む）や論理的な思考を身に着けます。

皆さんが目指す管理栄養士の方々は病院・学校・商業施設などいろいろな場で活躍されています。一例ですが、病院では、患者さんの快復を回すため、医師、看護師、理学・作業療法士、その他コメディカル分野の方々と協働しますが、その際、管理栄養士の見解・判断を求められます。

どの職場でも協働が必要ですが、そこで役割を果たせる管理栄養士になるために、本学で学業に励み、卒業後の将来に繋げましょう。私たち教員も全力でサポートします。



管理栄養学科
准教授
荒木 裕子

管理栄養士は、病気を患っている方や高齢で食事がとりづらくなっている方、健康な方一人ひとりに合わせて専門的な知識と技術を持って栄養指導や給食管理、栄養管理を行います。食と栄養の専門職として、医療施設、福祉施設、学校、行政機関、企業、管理栄養士・栄養士養成施設、試験研究機関等で活躍しています。

本学は、管理栄養士養成施設校の大学として、食と栄養を通して人びとの健康に貢献するために、地域医療、在宅医療および災害医療、社会のさまざまなニーズの栄養管理が実践できる人材を養成しています。管理栄養士になるには、管理栄養士養成施設で学び、国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けるのが最短の道です。

大学では、乳幼児期から高齢期まであらゆるライフステージで、個人や集団に食事や栄養について「栄養の指導」ができるよう、講義・演習・実習をしてさまざまな分野を学習します。「食べる」という行為は、個人の意図や、どのような食物入手が可能ななどのさまざまな要因の影響を受けます。担当している「栄養教育論」では、行動科学や行動経済学などの考えに基づき、自然に健康になれる環境づくり、行動変容を促す仕掛けなどを学びます。

管理栄養士は、適切な栄養・食生活を通して、活力ある「人生100年時代」の実現に向けて貢献できる素晴らしい職業だと思います。目指すみなさんを一生懸命応援します。

manabi



MESSAGE MESSAGE MESSAGE MESSAGE

先輩の声

MESSAGE MESSAGE MESSAGE MESSAGE

管理
栄養士高知学園短期大学
食物栄養科卒業
三愛病院 栄養管理室長

石山 由香

私は病院の管理栄養士として、様々な疾患をもつ患者様の状態に合わせて栄養管理や食生活の改善に向けた支援をしています。皆さんもご存じの通り、人が健康な生活を送るために、食事は必要不可欠なものです。

しかし、病気やけがなどで身体が弱っている際には、特に栄養バランスの取れた、そして摂取しやすい食事が重要になってきます。そのために食事の種類や食べ物の大きさ・硬さ等を調整し、口から食事が食べられない方には各種栄養剤を検討し提供させていただいています。

ある時、高血糖状態がずっと続いていた糖尿病患者様に対して、可能な限り本人様の希望に寄り添いながら一緒に目標を掲げて栄養指導を行うことで、今までずっと下がらなかった血糖値が順調に改善したことがありました。その時に「栄養士さんのおかげや。ありがとう」という言葉をいただいたときに、自分のこのように嬉しい記憶があります。栄養士の仕事は、患者様の状態変化をリアルタイムに把握することができるとともに、改善した時の喜びを一緒に分かち合える、とてもやりがいのある職業だと感じています。

最後になりましたが、大学では食と栄養について学ぶとともに、多くの先生方や友人とこの時にしか経験できない貴重な時間を共有してもらいたいと思います。その経験が社会人になりきってみなさんの力になると思います。人生を創る「栄養」について一緒に学んでみませんか？

管理
栄養士高知学園短期大学
食物栄養科卒業
Body care space Release 主宰

浅野 知彰

私は4年制の大学を卒業後、栄養について学ぶために高知学園短期大学食物栄養科に入学しました。

卒業後は東京の医療機関に就職。3年の実務経験を積んだ後に管理栄養士の資格を取得し、その後帰高。現在はスポーツトレーナーとして、運動・トレーニングと栄養の知識をフル活用して、クライアントの体に関する問題を解決する事を仕事にしています。

運動・トレーニングと栄養、この2つの分野は切っても切り離せません。一般の方でもアスリートでも、運動をしても結果が出ない人には栄養に問題が、食事を制限しても痩せない人には運動に問題があるケースも少なくはないので、運動と食事、この2つの視点から物事を観察できるのは強みになっています。

国家資格の取得はゴールではなく、スタートラインに立つ権利だと思います。大切なのはその資格を使ってどのゴールを目指すのか？であると考えます。

今後は高知県から全国で通用する選手を一人でも多く輩出する事を目標とし、アスリートのサポートを続けていきます。

特徴的なカリキュラム

CURRICULUM

■ 応用栄養学実習

ライフステージにおける発達段階や生理的特徴、栄養アセスメントと栄養診断に基づいた栄養ケアプランの立案について、食事計画と献立作成や調理、評価などについて学習します。

■ 基礎栄養学実験

栄養素の機能や役割、生体内での消化・吸収および体内動態、生体に及ぼす影響などについて実験により理解を深めます。

■ 食品学実験

食品に含まれる成分の性質、食品成分の変化について理解し、食に関わる専門的知識を日常生活で摂取している食品を例にとり、健康維持・増進を支える成分の化学的性質や調理・時間による成分変化について学習します。

■ 臨地実習

病院、学校、事業所、保健所等で実習を行います。卒業後どのような施設で管理栄養士・栄養士として働きたいのか進路を考えて、学外施設での実習がより効果的となるよう学習を深めます。

実習施設特有の課題発見、問題解決への取り組みと実践体験を通して、学内で修得した知識・技術の統合を図り、実践につなげていきます。

■ 給食経営管理実習Ⅱ

学内の大量調理施設を使用して、栄養計画、食事計画、献立作成、食材料管理、作業管理、衛生管理、給食の提供と、評価について給食サービス、給食マネジメントについて学習します。

■ 臨床栄養学実習Ⅱ

疾病の改善に不可欠な栄養食事療法、傷病者の栄養教育について学習します。具体的には各種疾病時の食事について食事摂取基準、食品構成、基本方針・食品選択・調理上の注意点などに配慮した病院食の実践を実習します。

■ がんと栄養療法

がんは日本人の死因第一位であり、がん診療におけるチーム医療の重要性が高まっています。

それに伴い、がん患者における管理栄養士の役割も大きいことから、がん患者の栄養管理における重要性とその手法について学習します。

■ 口腔ケアと栄養

加齢や疾患の影響などにより、う蝕や歯周病、口腔内における乾燥、汚れなど摂食・嚥下機能に障害を来します。

本授業では、口腔の仕組みについて学び、全身状態と口腔の関連について理解し、更に口腔ケアと摂食・嚥下機能評価による食形態と食支援における栄養管理について学習します。

■ 病棟栄養管理学

管理栄養士の病棟担当・配置における役割、ベッドサイド訪問における情報収集や面接法、検査データ・画像の分析法、症例検討による栄養管理プロセスなどを学習します。

チーム医療に必要な医療用語を理解し、多職種とのコミュニケーションの取り方を習得し、病棟ラウンドやカンファレンスでのEBNに基づくプレゼンテーション力の高め方、指導記録の取り方などについて学習します。

■ 栄養教育論実習

栄養教育論で修得した理論・モデルを使い、集団を対象とした栄養教育プログラムの計画立案、実施、評価・改善までの一連のながれを小グループで実施することで、食行動を変容し、QOL向上につなげるスキルの修得をします。

■ 管理栄養士総合演習

4年間で学習した社会・環境と健康、各種疾患の成因・病態・診断・治療、食品の生産・加工、調理の過程や人体への栄養面・安全面への影響、栄養教育、公衆栄養、応用・臨床栄養、給食経営管理など各分野の重要事項について演習を行います。

■ 教職実践演習(中・高家庭科)

演習形態を中心として、講義、事例研究、グループ討論、発表、ロールプレイング、フィールドワーク、模擬授業等を組み合わせ、家庭科教諭としての教育現場を想定した演習を行います。

■ 教職実践演習(栄養教諭)

教職課程科目の食・栄養に関わる専門的知識・技能及び健康の保持・増進に貢献する実践的な能力を身に付け、学校栄養教諭としての実践力を高める演習を行います。



私は 臨床検査技師に なる。

病気の診断と治療に必要な
臨床検査について学び、
最新の医療現場で活躍できる
実践能力を身につけます。



健康科学部 Department of Medical
Laboratory Science

臨床検査学科



■臨床検査学科の教育目的

医学及び臨床検査に関する講義・演習・実習を通して、生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師を養成します。

■臨床検査学科の教育の特色

健康科学部臨床検査学科では、臨床検査を通して、高度化・多様化する現代医療に貢献するために、人々の健康維持・増進の重要性を理解し、豊かな教養と人間性を備え、実践力に富む臨床検査技師の育成を目的としています。

- 臨床検査技師の持つ高度な専門的知識・技術を通して、地域住民の健康と生命をサポートし、地域貢献に繋げる教育を実施します。
- 広い視野と研究的視点を育む教育を実施します。
- チーム医療スタッフの役割の理解とその一員としての実践力の向上を目指します。

■臨床検査技師養成指定大学

本学は、臨床検査技師養成校として文部科学大臣から指定されています。

指定校は、文部科学省において定められたカリキュラム、教員組織、施設・備品などが整備された教育環境で臨床検査技師養成を行うことを保証するものです。

本学では、これらの教育環境に加えて、大学教育として幅広い教養科目やチーム医療概論、地域医療概論、卒業研究などのカリキュラムを整備しており、広い視野から現在の医療に貢献し、将来の医療の発展を支える人材養成を行います。

MESSAGE

医療の分野で地域社会に貢献してみませんか。
～身体からのシグナルをいち早く捉える臨床検査技師として～



健康科学部
臨床検査学科 学科長
富永 麻理

高知学園大学健康科学部臨床検査学科は令和2年4月に4年制大学として発足し、今春3期生を迎えました。臨床検査技師養成校としては50数年の歴史を持ち、その間輩出した約2500名の卒業生は、全国の病院、検査センター、臨床検査関連試薬機器メーカー、大学などの教育研究施設等で活躍しています。

この2年間、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振りPCR検査・臨床検査ということばが世の中に広く知られるようになりました。臨床検査技師の仕事は幅広く、新たな検査技術の研究・開発、検査の質保証、検査結果と病態を繋げる解析力、患者さんへの検査前説明、検査の実施や実施後の結果説明、チーム医療の一員として臨床検査の立場からの発信なども含まれています。

具体的には、患者さんから取り出された検体に含まれる成分を分析したり、細胞を観察したり、検査機器を用いて患者さんの臓器や血管の働きを調べたりすることで、患者さんの身体から発信される病気のシグナルをいち早く捉え、検査結果という形で医師に情報を提供する医療専門職です。つまり、医師が病気の診断や治療方針の決定、経過観察や治療効果の判定を行うために大変重要な役割を担っています。

令和3年には、医師の働き方改革を進めるために、従来医師が行ってきた業務を医療専門職種で分担するタスク・シフト/シェアの推進が示され、臨床検査技師もその一翼を担うことが求められました。そのため、令和4年4月入学生からは、新カリキュラムによる教育が始まります。栄養学・薬理学・遺伝子解析学・医療安全管理学などを含む幅広い学びは、病院への就職だけでなく、より多岐にわたる進路の選択を可能にします。

臨床検査学科では、このような社会の求めに応じるため、カリキュラムに、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」を配置しました。これらの科目の講義・演習・実習を通して、人体の健康状態を解析できる臨床検査の知識や技術、臨床検査分野の課題を探索し問題解決を図る能力、責任感・倫理観やコミュニケーション能力の習得を目指します。

特に地方の抱える医療の問題点を臨床検査の立場で考え、地域に貢献する地域医療を支える人材育成が大きな目標です。本学科が、「身体からのシグナルを捉える臨床検査技師として活躍したい」という皆さんの想いを実現する場となることを確信しています。



大学。育。成。す。る。

Manabi

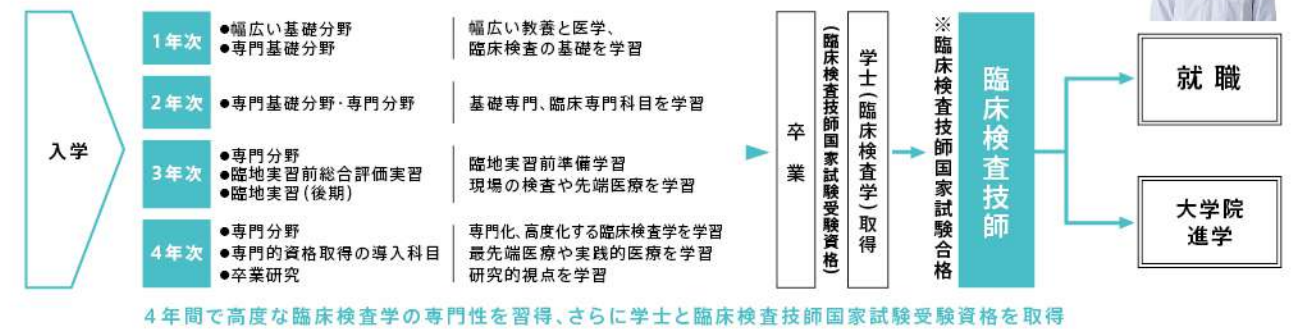
Qualification

取得可能な免許・資格

- 学士（臨床検査学）
- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 健康食品管理士認定試験受験資格
- 遺伝子分析科学認定士受験資格
- 中級、上級バイオ技術者認定試験受験資格

CAREER DESIGN

臨床検査学科のキャリアデザイン



臨床検査学科
教授
松崎 茂展

高度な検査技術とリサーチマインドを持つ臨床検査技師の育成を目指します。

いまだに新型コロナウイルスの蔓延が続いておりますが、この2年間ほど臨床検査技師の仕事の重要性が認識された時はなかったと思います。毎日一喜一憂しています。コロナウイルスPCR陽性者数の報告は、その最たるものです。また私個人としても、近親者がガンにかかったときに、医師から提示される腫瘍マーカーの数値の増減には、精神がすり減るほどに気を使った経験があります。これも臨床検査技師の方々が出されたデータに基づいています。いかに臨床検査技師の仕事が、私たちの健康や生命と密接にかかわっているか分かります。

私は、高知学園大学が発足しました2020年4月に高知大学医学部から赴任してまいりました。医学部では、主に医学科・看護学科の学生さんたちに微生物学の講義や実習を行なってきました。また、それとともに微生物学の基礎研究に取り組んでまいりました。その中で実感しましたのは、これからの医療現場で働く方々には、医療技術だけではなくリサーチマインドを持つということが重要になるということでした。臨床検査の分野でも、リサーチマインド持つことの重要性、すなわち日常業務の中で生じてくる課題等を、自ら発見・研究し解決して行く能力を習得することの重要性が、強調されています。

このような状況を踏まえ、高知学園大学では、高い検査技術を持つとともに、リサーチマインドを持った臨床検査技師の育成を目指します。



臨床検査学科
助教
松崎 梢

医療や研究分野で活躍できる検査のスペシャリストを育成します。

このページを開いた皆さんは臨床検査技師という職業について知っていますか？知っている、聞いたことがあるという方も、または初めて聞くという方もいらっしゃるかもしれません。皆さんは、病気をした時や健康診断で検査をした経験があると思います。その検査を行っているのが臨床検査技師です。最近では新型コロナウイルスに関するPCR検査や抗原検査に携わっているのも臨床検査技師です。少し身近に感じてもらえたでしょうか？臨床検査技師は様々な分野で活躍している検査のスペシャリストです。

臨床検査学科に入学すると、1年生から臨床検査基礎実習を通して化学分析や実験手技を学んだり、生理学や生化学、病理学、微生物学や血液・免疫学などの専門科目の講義や実習を通して多くの臨床検査技術を習得し、専門力を身につけます。

臨床検査技師はこの専門力を生かして、病院業務だけでなく研究所や大学での研究や分析など幅広く携わり、人々の病気や健康維持に寄り添えるやりがいのある職業です。

病院では医療チームの一員として医師の病気の診断に携わり、患者さんの病気と向き合っています。また研究機関では検査技術を生かして遺伝子検査や化学分析に関わり、様々な病気の原因や治療法の研究に携わっています。

入学してからの4年間は知識や技術の習得に大変なことも多いと思いますが、だからこそ学ばせ、やりがいを覚えることのほうが大きいと思います。同じ志を持つ仲間と苦楽を分かち合い充実した大学生活を送ってもらいたいと思います。そして、患者さんの気持ちに寄り添える、人々が健康な毎日を送るよう地域や社会に貢献できる人材となっていきたいと願っています。

私たちは皆さんが検査のスペシャリストを目指せるよう応援していきます。ぜひ一緒に学びましょう。



MESSAGE MESSAGE MESSAGE MESSAGE

先輩の声

臨床検査
技師公益財団法人
高知県総合保健協会

川村 由佳

私の勤める高知県総合保健協会は、日本結核予防会、日本予防医学協会、日本対がん協会の高知県支部が一つになって設立されました。現在、高知市に中央健診センター、宿毛市に備後健診センターを開設しており、県民の皆様がすこやかに暮らすことのできる社会の実現を目指し、健康診断業務を主として高知県全域で事業展開をしています。

配属先の検査業務課には38名(男性9名、女性29名)の臨床検査技師が在籍しており、高知学園短期大学の卒業生が9割を占め、みんな頼もしい存在です。(地元)検査技師養成学校があることに感謝!! 職員は個性豊かなつわものぞういで、いつも和気藟々とした雰囲気の中、健診車両に乗り込み、毎日早朝から西へ東へと出かけていきます。

臨床検査技師の働く職場と言えば、病院や検査センターと思われがちですが、健康診断などの予防医学分野でもたくさんの臨床検査技師が活躍しています。実は私も学生時代にはこのような職場があることはまったく知りませんでした。当協会でも人間ドックや職場・地域住民の健診やがん検診、他にも学童を対象とした心臓健診や尿・寄生虫検査を行っており、それに伴う採血、血液検査、心電図検査、肺機能検査、超音波検査、細胞診検査と幅広く従事し、スペシャリストの育成として資格取得にも積極的に取り組んでいます。

健診(検診)とは早期発見・早期治療を目的としており、検査の対象は健康な方ばかりです。「何か嫌な事を言われるかも…」どこが悪いところが見つかったらどうしよう…」みなさんドキドキと不安の中、受診されます。私達の声掛けや説明で安心して検査を受けていただいて、受診者様より笑顔で「来年もまた来るからね」「早く見つけてもらって良かった」「いつもありがとう」といった感謝の声を聞ける事で、なによりの励みとやりがいを感じます。

臨床の場と異なり地味な印象もあると思いますが、健やかな心と健康な体が何より大切であることを学ぶ所です。予防医学という分野に興味を持って、一緒に働きたいと思ってくださる方が増えることを願っています。

臨床検査
技師東京医科歯科大学病院医科
救命救急センターCRC
国立大学法人筑波大学
数理物質工学研究室
出向先 国立感染症研究所
協力研究員
公立大学法人埼玉医科大学
健康開発学検査技術科学専攻
非常勤講師林 恭子
衛生技術科卒

みなさんは「世界三大感染症」をご存じですか? 結核、エイズ、そしてマラリアです。マラリアの年間罹患者数は約2.2億人、死亡者数は約44万人にもおよびます。このたった1つの細胞で生きる単細胞生物のマラリア原虫に対し、世界中の多くの科学者たちが英知をもって挑んでいます。

しかし未だ制圧に至っていない。なんとたくましい生物だろう! 私は今、そのマラリア新薬の研究に携わっています。マラリア原虫は赤血球に感染します。血液塗抹標本の作成、ギムザ染色、PCR、ここでも臨床検査技師の技術は大いに役立っています。

世界保健機関(WHO)の国際公務員にあこがれた私は、高知学園短大を卒業し、検査技師の大学に編入学しました。その後病院で20年ほど、働きながら40歳で大学院にも通いました。現在、臨床検査技師の知識と経験で大学病院の救命救急センター(ER)でCRC(臨床研究コーディネーター)と、国立感染症研究所で協力研究員、医療系大学で非常勤講師をしています。

医療最前線のERや日本屈指の国際的研究者とのマラリア研究など、やっと当時の夢に少し近づけたかなと思います。どこかで必ず人の役に立てるこんなにもやりがいのある職業を、私はぜひお勧めしたいです。

臨床検査技師の可能性はどこまでも

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM■ 遺伝子染色体検査学・
遺伝子染色体検査学実習

ゲノム医療など臨床現場で求められる遺伝子検査の知識、技術、解釈を学ぶ。

遺伝子検査に必要な基本的技術や日常検査に導入されている遺伝子検査の実験と結果の解釈について学習します。実習では、核酸の抽出・精製や様々な遺伝子解析技術を行い、遺伝子検査の基本的技術と各解析技術の特徴を実践的に学びます。

さらに遺伝性疾患、多型解析、腫瘍関連遺伝子および感染症の診断に必要な分子遺伝学的な基礎知識や倫理的問題についても知識を深めます。遺伝子分析科学認定士の資格取得に重要な授業です。

■ 細胞検査学

がん検診のスクリーニングに重要な、実践的な細胞診断の基礎知識と技術を学ぶ。

細胞学的検査法(細胞診)は、がん検診のスクリーニングをはじめ、臨床検査技師が診断に関わる非常に重要な検査です。細胞診に必要な解剖学、組織学的構造を理解し、実践的な細胞診断の基礎知識と技術について習得します。

■ 画像検査学・画像検査学特論

将来の超音波検査士の資格取得を目指して、実践的な知識と技術を習得。

臨床検査技師に求められる超音波検査、磁気共鳴画像検査(MRI)、熱画像検査(サーモグラフィ)、眼底検査について学びます。関連する画像検査法についても学習し、疾患を分析できる能力を培います。超音波検査、CT、MRI、心カテ、マンモグラフィなどの画像から疾患を分析し、生化学検査値、患者さんの状態も合わせて考える力を養成します。

■ 医療情報学・医療検査情報システム論

医療データの管理技術、情報処理技術、解析技術について学び、医療情報技師の資格取得を目指す。

膨大に発生する医療データは、臨床診断や医療経営に重要な情報を生み出しています。これらを解析して、エビデンスに基づく医療を行うことが求められています。授業では、医

療データの性質、データの管理技術、情報処理技術、データ解析技術について学び、問題に対して、科学的根拠に基づいて対処ができる方法を学びます。そして、各種疾患と検査の関係を考察し、説明できる力を養成します。

■ 病態解析学特論

医療情報を収集し、疾患を総合的に把握するために必要な病態解析能力を養う。

医療現場で臨床検査技師として活躍するためには病態解析能力が必要です。授業では、疾患を総合的に把握するための演習を行います。疾病の原因、検査結果、臨床病態、診断法、治療法、転帰、疫学的データ等の医療情報を収集してまとめ、発表することができる能力を養います。

また、現代社会が抱えている貧困と病気などの疾病構造や、医療の現状について考察できることを目指します。

■ 臨地実習

医療現場において実践的な技術と知識を習得し、チーム医療における臨床検査技師の役割を学ぶ。

臨床検査の実践力を身に付けるために、臨床現場における日常業務、患者接遇を通して臨床検査技師の果たす役割を理解します。さらに医療人としての自覚と倫理観を養い、人間性の向上を目指します。

現代医療の中でチーム医療における臨床検査技師の職責を理解し、医療現場に対応で

きる基本的な技術と知識を習得し実践できる力を養成します。

■ 生殖医療概論

最新の生殖発生学の医学的知識を習得し、将来、胚培養士の資格取得を目指して、生殖補助医療についても学ぶ。

細胞工学を医療に適用する技術が進歩し、生殖医療や再生医療が実用化されています。「生殖」を中心とした解剖学・生理学・発生学の基礎から、最新の医学として生殖細胞や幹細胞、再生医学を学びます。また、不妊治療を中心とした生殖医療について、さらに、生殖医療における倫理的・社会的問題についても学びます。

■ 健康食品総論

健康食品についての正しい知識を習得し、健康食品管理士の資格取得を目指す。

近年、体内調節機能を意図した食品の研究が進み、健康保持および増進に寄与する健康食品が多く開発されています。国民の健康意識が高まる中、健康食品について正しい知識を持ち、食の安心を提供する相談員の養成が望まれています。

授業では、栄養学、食品学の基礎を理解し、摂取者の栄養状態を客観的に評価できる検査の基礎知識をもとに、健康食品の有用性および安全性について評価・説明できる力を養成します。



育成する 大学。

目的意識を持つ
学ぶ意欲を持つ
そして社会に関わる
意思を持つ

KOCHI GAKUEN
COLLEGE

高知学園短期大学で
I Love Gakuen. I want to learn more.

を学ぶ。

私は 幼稚園教諭、 保育士になる。

乳幼児教育・保育の専門的知識、
技術を学び、幼稚園教諭（二種）、
保育士を目指します。



■ 幼児保育学科の教育目的

子どもたちの「生きる力の基礎」を育むために、豊かな人間性を身につけるとともに、情報を適切に収集し、選択・活用する能力、知識を有機的に結びつけ構造化する力、組織的・協同的に諸課題に取り組む力など、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって主体的に高めていくことのできる幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成します。

Department of Early Childhood Education and Care

高知学園短期大学

幼児保育学科

QUALIFICATION
取得可能な資格

- 短期大学士（幼児保育学）
- 幼稚園教諭二種免許状
- 保育士資格



幼児保育学科 学科長
後田 紀子

あなたの夢の実現のために、私たちが全力でサポートします。

乳幼児期は、自分の生活を離れて知識や技能を一方的に教えられて身に付けていく時期ではなく、遊びや生活の中で自分の興味や欲求に基づいた直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会と関わる人として生きていくための基礎を培う重要な時期であるといえます。つまり、保育者は「子どもの望ましい発達を期待し、子どものもつ潜在的な可能性に働き掛け、その生涯にわたる人格の形成を図る」という崇高な使命を持っているのです。

子ども一人一人にこれらの力を育んでいくためには、優れた資質能力を備えた魅力ある保育者が必要とされています。「教育は人なり」といわれるように、教育の成否は、教員の資質能力に負うところが極めて大きいといえます。

幼児保育学科では、「幼児たちの集団生活を育む教育・保育に必要な知識と技術を習得し、愛情に満ちた豊かな人間性を持つとともに、特に附属高知幼稚園などにおける豊富な実習の体験を通して、新たな幼児保育理論を備えた実践力を有する幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成する。」ことを目標に掲げ、次代を担う質の高い保育者の養成を目指しています。

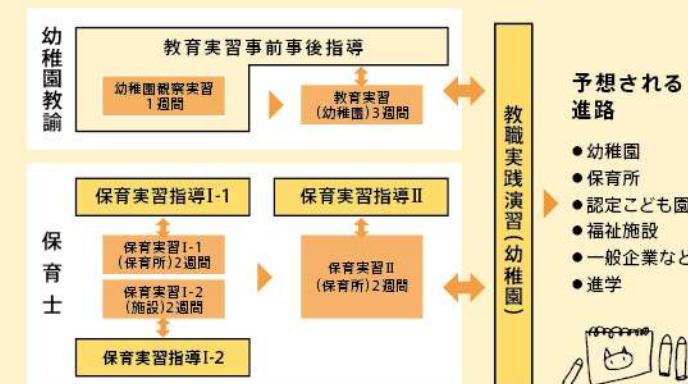
さらには、学生の皆さんが安心して、大学生活を送ることができるよう学習や生活などの支援体制も整えています。

ぜひ、みなさんの夢をここ高知学園短期大学幼児保育学科で実現しませんか。皆さんの夢の実現に向けて、全力でサポートさせていただきます。

CAREER DESIGN

幼児保育学科のキャリアデザイン

卒業と同時に幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得。より実践的で質の高い保育者の養成を目指し、本学独自のカリキュラムを編成しています。



幼児保育学科では、専任教員を中心に、自らが進めた研究活動に裏づけられた内容を授業で取り上げています。そのため、確かな根拠と最新の理論を提供する講義が実践されています。さらに、そこで得られた知識や技能を活用する実践力を養う、学外実習の機会を多く取り入れています。

また、本学と同じ敷地内に高知学園短期大学附属高知幼稚園があり、日常的に実践的な学習を行うことができます。これは実習の事前指導としての効果だけでなく、学習内容が真の理解に発展する絶好の機会となっています。こうした活動は、幼稚園と短期大学を擁する総合学園だからこそ実現できるのです。

人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育及び保育について学びます。



出発式

卒業生は幼稚園教諭免許状と保育士資格を取得します。保育者としての責任と自覚を高めるために、幼児保育学科では「出発式」を行っています。

先輩からのエール



幼児保育学科 2年
武市 柚希

私は幼い頃から保育士になりたい夢を持っています。そこで保育士資格と幼稚園教諭二種免許状を取得できる高知学園短期大学幼児保育学科に魅力を感じ、入学しました。

学校生活では、授業や慣れないピアノ、実習など不安なことも多くありますが、同じ夢を目指す友人や、サポートしてくださる先生方のおかげで充実した大学生活を送ることができています。

私が特に印象に残っているのは、初めての保育所実習です。幼児保育学科では、2年間で5回の実習を行います。私は実際に園に行き、子どもたちの様子や保育者の姿を見て今まで気付かなかったことを発見できたり、具体的な援助や環境構成を知ることができました。

また、直接保育者の話を聞くことができ、どのような思いを持って子どもたちと関わっているのか、子どもたちと関わる以外の仕事内容を知ることができました。

これからも、理想の保育者になれるよう専門的知識・技術を高めることを怠らず、ひとりの人間としても成長していきたいです。

Message



幼児保育学科
教授
中山 直之

学びのきっかけづくり

親や家族の愛情をいっぱい浴びて育ってきた子どもたちが、初めて家族から離れ、社会の一員としてひとり歩き始める保育園や幼稚園。その育ちの場で「初めて出会う先生」となる優秀な保育者を養成してきた学短。

地震などの自然災害や、コロナウィルス、まさかの戦争…と想像を絶することが立て続けにおこる毎日。今こそ教育の原点に立ち返り、世界中の子どもたちが平和に健やかに安心して暮らしていけるよう、真理を追究し、バランス感覚の優れた力ある

保育者を育てたいと思います。

「初めての学びの場」の経験が後の人生を大きく左右することは容易に想像できます。子どもたちの成長は私たちの幸せです。未来を切り拓く子どものために、子どもや家族、関係するすべての人々と「ともに学ぶ保育者」に育てて欲しい。

学短での修学が、生涯にわたって学ぶきっかけをつくる2年間となり、卒業後も一緒に「学び続ける学短の仲間」になりませんか。

■教育原理

教育の目的や意義、方法、内容などについての、基本的原則や理論的基礎を学ぶ。

教育原理の範囲は、教育の意味と我が国における教育の文化、教育の発展に関わってきた人物と理論、教育の歴史、日本や外国の教育の特徴、実践的な指導法や学習指導要領など、広いものがあります。さらに教育について多くの人々が考え、実践してきた教育の形を学ぶことにより、子どもをささえ、子どもの育ちを見守り、手助けをする保育者の役割が深く理解できるようになります。

■発達心理学I・II

発達理論の理解を深め、子どもと触れあうことで、保育実践力を養う。

保育の実践は、子どもを理解して初めて可能となります。発達心理学では、子どもの心の発達を理解し保育へ活用する視点と能力を養うため、常に最新の発達理論を学ぶとともに子どもと触れあひながら理解を深めていきます。

中でも、附属高知幼稚園の協力を得て幼児を対象とした研究を行うことは、自ら学習して得た知識と実際に得られた分析結果とを結びつけて理解を深めていく効果があります。

その結果、理論で用いられるデータを読み取る力が養われますので、就職後も最新の研究理論を活かした保育実践力の向上に役立っています。

■教育実習・保育実習(保育所・施設)

子どもを理解し、保育を構想し、省察する力を身につける。

乳幼児期の教育・保育は、子どものもつ様々な可能性に働きかけ、その人格形成の基礎を培う重要な営みです。保育者が自分の思いを一方向的に子どもたちに押し付けるだけの保育では、子ども一人一人の発達を着実に促すことはできません。

実習は、本学で身に付けた知識や技術をもとに、幼稚園や保育所、福祉施設等で、直接子どもと関わり共に生活をする中で、保育者としての喜びや意義、子どもについての理解を深めます。

ただ単に保育者や子どもの姿を観察するだけではなく、保育の計画(P)・実行(D)・評価(C)・改善(A)を繰り返し体験することで、保育者としての専門性を学んでいきます。このようにして、保育の基礎力を身に付けていくことになります。

特徴的なカリキュラム

CURRICULUM



■保育内容(健康)

子どもたちの健康・遊び・安全についてグループワークで学び合う。

子どもたちの心身の健康に関する領域「健康」では、基本的生活習慣・遊び・安全等のテーマに重点を置いて、保育者の指導・援助のポイントを実践的に学びます。

運動遊びの模擬保育では、幼児期運動指針をふまえて、発達特性に応じた運動の在り方や保育者の関わり方をグループワークで理解します。

また、安全の確保や事故への対応、乳幼児の一次救命処置の手順、災害時の行動など、子どもの命を預かる保育者の責務についても学びます。

■幼児と表現

身体・音楽・造形の学際的コラボレーション。

子どもたちは体を動かすこと、歌うこと、絵をかくことが大好きです。音に合わせて体が動くダンスに、ダンスに合わせて服を選ぶと衣装になります。

身体表現にバレエのエッセンスを取り入れ、それに合う音楽表現(選曲や演奏)を探究し、それらを融合させる造形表現を考えます。

人の手によってつくられ、時代や地域を超えて受け継がれてきたアート(芸術)の中にある普遍的なものを子どもたちの表現活動に生かしたい。そのために教員も学生も教科を超えた新たな学びに挑戦しています。

■保育内容総論I・II

保育を構想するために必要な内容を学ぶ。

保育の場では、毎日子ども達が自分らしく伸び伸びと遊びや生活を送っています。そこでは、愛情豊かに子ども達に関わる保育者の存在がとても重要になります。

保育内容総論では、保育の基本となる保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について理解し、事例や映像等も交えながら、環境を通して行う教育の考え方や子どもの目線に立った子ども理解のあり方、保育者の役割について学んでいきます。

■子育て支援

子どもの生活を支える保護者への支援を学ぶ。

子育て支援では、保護者への支援を通して、「子どもの最善の利益」を実現する方法について学びます。「子どもの最善の利益」は、「子どもにとって最もよいこと」に取り組むという、保育者の基盤となる考え方です。

この「子どもの最善の利益」は、保育所や幼稚園のことに限りません。子どもが家族と安心して暮らせることや、将来、学校で友達と楽しく過ごすなど、子どもの生活全体を視野に入れる必要があります。

そのために保育者は、子どもの家庭生活を支える保護者の相談にのり、協力し、一緒に子どもを育てるパートナーでなければなりません。授業では、こうした保護者への相談や助言、関係構築の方法を、事例検討やロールプレイを通じて学びます。

私は 歯科衛生士に なる。

歯と口の健康と全身の
関連について総合的に学び、
歯科衛生士を目指します。



■ 歯科衛生学科の教育目的

幅広い教養を深めるための基礎分野では、豊かな人間性と倫理観、異文化を理解することによりグローバルな視点を培い、多様な講義・演習・実習の専門分野では専門的職業人として主体性をもち、継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を習得し、生涯にわたり自己研鑽を重ねる志とコミュニケーション力を兼ね備えた歯科衛生士を養成します。

Department of Dental Hygiene

高知学園短期大学

歯科衛生学科

QUALIFICATION
取得可能な資格

●短期大学士(歯科衛生学)
●歯科衛生士国家試験受験資格



歯科衛生学科 学科長
中石 裕子

県内唯一の歯科衛生士を養成する教育機関です。

歯科衛生学科では、基礎、専門基礎、専門分野などカリキュラムに沿って学びながら知識と技術を深めます。歯科衛生士業務の主となる歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導では感染防止に配慮し、万全を期し学内実習を通してより専門的な教科を3年間で習得します。

学内では講義を通してインプットを行い、演習および実習では、グループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れアウトプットすることで人に伝え理解を深めます。また学外実習の一つとして、本学科の特色は、学生の主体的な学びとして行政と連携した歯肉炎予防を中心に行う「食育+歯みがき」実習があります。毎年3,000名以上の幼児・児童・生徒に予防のための支援を実践しています。

口腔衛生の方法及び食支援を通して全身の健康管理を目指し、各年齢層(ライフステージ)に応じた指導計画と評価ができる実践力を養っていきます。今後を見据えた災害支援や高齢者の口腔のケアや予防等に力点を置き、社会のニーズにも対応した異文化理解と幅広いコミュニケーション能力を培うために授業と実習の展開を図っているのも特色です。

学外臨床・臨地実習では、高知県の歯科医院等で勤務している殆どは本学の卒業生であり、歯科臨床実習においても先輩が懇切、丁寧に指導してくれます。歯科衛生士は国家資格であり、非常に有利で将来性のある仕事です。

CAREER DESIGN

歯科衛生学科のキャリアデザイン

卒業と同時に短期大学士(歯科衛生学)と歯科衛生士の国家試験受験資格が取得できます。学内の講義・実習と学外実習を通して実践力を養い、多様なカリキュラムを編成しチーム医療の一員として連携できる歯科衛生士を目指しています。



予想される進路

- 歯科医院
- 病院
- 高齢者施設



歯と口の健康と全身の関連について総合的に学びます。



県内最大規模の実習環境！
歯科医療現場と同等の設備で実践力を養います。



ポータキュプ+ (プラス) は訪問診療用のポータブルユニットです。本校ではいち早くこのユニットを導入し、地域医療や災害時などの医療を根底で支える歯科衛生士を育成します。



先輩からのエール



歯科衛生学科 2年
島崎 里奈

私は、最初歯科衛生士という職業は名前でしか聞いたことがなかったのですが、この職業について調べていくと、小さい頃、歯の治療中に優しく接してくれた方々だったことを知り、単純にかっこいいと思い、歯科衛生士を目指すことにしました。

こんな漠然とした思いで入学し、初めは専門用語も分からず、今後への不安を抱いていましたが、先生方の優しくわかりやすい指導や、学生の士気の高める声がけもあり、今でも不安はありませんが、楽しく学生生活を送っています。

また、学校内ではマスクや消毒の徹底、こまめな換気による新型コロナウイルス感染症対策もあり、安心して勉学に励むことができています。

歯科衛生士について学び1年経ちますが、口腔環境が全身の病気に関与することを知り、歯科医師の補助だけでなく、病気を予防するための口腔ケアを行うことなどもこの職業であり、高齢化の進むこれからの社会に必要であると感じています。

もっと多くの事を学び、将来立派な歯科衛生士になれるよう頑張っていく予定です。

Message



歯科衛生学科
准教授
坂本 まゆみ

口は、「呼吸する」「食べる」「話す」「表情をつくる」など生活に欠かせない体の一部です。また、口腔が不衛生になることで起こるインフルエンザや肺炎、歯周病菌と糖尿病・心臓病との関係、歯の噛み合わせや飲み込むこと、低下から起こる転倒や低栄養・認知症など、口は全身の健康にも影響しています。

歯科衛生士は、最期まで自分の歯でおいしいものを安全に楽しく食べるための食支援を含め、歯科疾患の予防や口腔健康管理のエキスパートとして、妊婦から亡くなるまで、全てのライフステージに関わりQOLの向上を支援します。個人のニーズに

応えるため、さまざまな分野の学習をするので、来自分のキャリアに合わせ活躍の場も広がります。

本学では、歯・口腔の専門知識や技術を修得し、学外実習では保育園や小・中学校、介護施設等で歯みがき指導や口腔機能向上、コミュニケーションスキルなどを学んでいます。また高齢者や障害者の身体や精神の理解や介護技術、災害時の口腔のケア支援など多職種連携とのコーディネイトのすめ方なども習得します。

人生100年時代の今「心ある医療」を基本に、「食べる力・生きる力をサポートする歯科衛生士」を目指してみませんか。

■ 口腔衛生学I

歯と口腔の疾患予防や健康増進について学ぶ。

口腔衛生学Iは歯科衛生士にとって全ての授業の基礎となる科目です。歯と口腔を健康に保つための原理を探り、疾病を予防し健康を保持・増進させることを目的としています。歯科衛生士として、歯・口腔を健康に保つための手段・方法を身につけます。

■ 口腔解剖学I・II

歯の形態や歯列・咬合、歯および歯周組織の知識を学ぶ。

口腔解剖学Iでは、顎口腔領域の形態、構造について学びます。今後も増加する高齢者・要介護者が抱える問題となる嚥下障害など口腔の機能についての基礎知識を理解します。

口腔解剖学IIでは歯牙の形態、構造について学びます。歯の形態はそれぞれ異なっており、一本一本の歯がそれぞれどのような働きをしているのか、また、歯科衛生士として歯(歯冠・歯根)の特徴を理解することは、目に見えない部分の歯石を取る(スケーリング)際に必要なことです。

■ 健康教育

病気に対する知識や口腔状態、セルフケア方法を理解する歯科健康教育を学ぶ。

この科目では、様々な年齢層に応じた歯みがき指導ができるように、学生間で目的を設定し、学生の主体性とチームワークに重点をおいた授業を展開します。年齢にあった媒体を作製し保育園・小学校・介護施設等で歯みがきや口腔機能向上の指導実習をします。



歯磨き指導

特徴的なカリキュラム

CURRICULUM

■ 高齢者・障害者介補技術

高齢者や障害者に重要な口腔ケアの技術を学ぶ。

歯科衛生士も歯科医院から在宅・病院・施設などに訪問の機会が多くなってきました。高齢・障害者についての身体・精神の程度、症状等を正確に理解し、力学的相互関係を活用した介護技術を学びます。(ボディメカニクス)

■ 診療補助実習

実習を通じて、歯科診療補助の実践的な技術を学ぶ。

最新の歯科診療台が18台あり、教員のデモンストレーションを見るモニター(パソコン)も設置されています。学生同士での相互実習により、技術の習得のために歯科医院と同じ設備です。使用する器具等は完全に滅菌・保管されており、安心して実習できます。

■ 歯周病予防処置・う蝕予防処置

歯を失う原因にもなる歯周病を知り歯周病の予防処置を学ぶ。

歯周病の予防では、スケーラーで歯石などを

除去します。むし歯の予防では歯にフッ素を塗ったり、予防填塞という処置をするなどの知識や技術を実習します。

■ オーラルヘルスケアテクニック

予防を目的とした歯のメンテナンス技術と知識を学ぶ。

オーラルヘルスケアは、オーラル(口腔: oral)ヘルス(健康: health)ケア(管理・予防: care)を意味しますが、口腔の問題にとどまらず全身の健康やQOLとも関連することが明らかとなってきました。心身ともに健康であることをもとに知識や技術を習得していきます。

■ 災害と支援活動法

災害時における口腔ケアや口腔衛生の必要性と疾患予防の観点における支援を学ぶ。

災害には、風水害、震災、雪害などの自然災害の他、人為的災害があります。その場合、歯科医療や歯科保健の支援が必要になります。

災害時は、住み慣れた自宅での生活から一転して、食事や睡眠・ストレスなども大きくなるため、多職種とも連携しながら健康管理や支援内容、コーディネイトなどのすすめ方を習得していきます。

連綿と受け継がれる誇りと伝統のセレモニー



継承式

継承式では、先輩から後輩へローソクの灯が受け継がれます。この灯火は「消えることのない心のある医療を目指す証」としてまた、「本学の歯科衛生士として誇りと情熱、患者様に対する誠意」の意味が込められています。この継承式は、臨床実習前に行われます。



たちばな徽章

第一期生の誕生から53年。歯科衛生士としての情熱と誇りは今も脈々と後輩たちに受け継がれています。歯科衛生士として常に原点に返り、臨床実習に向かうにあたり、社会貢献を誓う継承式で、この徽章が贈られます。徽章には、本学の校章である「橘」の花が描かれています。

たちばな徽章



私は 看護師に なる。Manabi

人々の生活を健康の視点から
支えられるよう、
健康や看護について学び
看護師、養護教諭（二種）を
目指します。



■看護学科の教育目的

平和と友愛の精神を基盤に、豊かな人間性と倫理観を備え、学習した専門知識・専門的知識・技術を用いて、根拠に基づいた看護が実践できる能力、他者と協働し人々の健康と生活の質の向上に貢献できる能力、そして研鑽を継続していく能力をもった看護専門職者を養成します。

Department of Nursing

高知学園短期大学

看護学科

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 短期大学士（看護学）
- 看護師国家試験受験資格
- 養護教諭二種免許状



看護学科 学科長
田尻 信子

倫理は理性—感情—直感—人生経験のコラボレーション。

これは、「看護実践の倫理」の著者の一人でもあるメガン・ジェーン・ジョンストンの言葉です。

私が倫理の講義を行うときよく活用しており、看護実践の中で大切にしている「核」となる言葉です。更に理性や直感で考えるためのベースは知識と言われています。本学の教育方針にある、専門的知識・技術を教授し、科学的・論理的思考を養うという目的と合致しており、このような看護職者を育てられると信じ、教育に携わっています。また折に触れ、倫理的思考の礎を築けるよう看護者の倫理綱領を授業や行事で取り入れています。

看護という言葉には「看る」という手や技術を使い、一人ひとりに向き合い、考え、その方にあったケアを提供するという意味が込められています。更に、「なぜ? どうして?」と科学的に、客観的に思考を重ね、技術を習得する教育を看護学科ワンチームとなり、実践しています。

100年前のナイチンゲールは、多くの著書の中で、「新鮮な空気」がいかに健康保持に大切か、「汚れた空気」がいかに病気の原因になるかを繰り返し述べています。今も私たち看護者に感動を与えてくれ、正しい方向を指し示す灯台となってくれていると感じます。その教えを学生に伝えていくのも私達の務めだと考えています。

先の見えないコロナ禍で、本学では他学科と協同でプロジェクトを組み、対策を考え、在学生達の協力のもと令和2年から対面授業を続けています。そして、看護師、保健師、養護教諭の資格を有する実践者達とタッグを組み、シミュレーションやロールプレイ、またTeamsなどのNETも活用しながら看護教育に邁進しています。

学生の皆さん、一緒に本学で学んでみませんか? 全力で応援します!

CAREER DESIGN

看護学科のキャリアデザイン

卒業と同時に短期大学士（看護学）と看護師国家試験受験資格が取得でき、さらに必要な科目の単位修得により養護教諭二種免許状も取得できます。卒業後は、病院や訪問看護ステーションなど様々な場で看護師として活躍したり、保健師や

看護師国家試験受験資格



養護教諭二種免許状（選択）



予想される進路

- 病院
- 訪問看護ステーション
- 介護保険施設
- 海外での看護活動
- 学校
- 進学



人々の生活を健康の視点から支えられるよう、健康や看護について学びます。



戴灯式 看護師の行動指針である「看護者の倫理綱領」を朗唱し、看護専門職者として引き受ける責任を自覚します。

先輩からのエール



看護学科3年
谷脇 菜月

私は病院で出会った看護師に憧れ、幼いころから看護師になることが夢でした。看護の中でも特に救急看護に興味があり、そのきっかけは自分が救急車で運ばれたことでした。自分の状況が分からず混乱し不安な中、傍で優しく声をかけてくださった看護師にとても支えられ、私もその方のように人の命を救うだけでなく、精神的にも患者さんやその家族を支えることができる看護師になりたいと思うようになりました。私はこの夢をかなえるために看護学科に入学しました。

1年生では、解剖生理や看護技術などの基礎知識を学びます。特に本物の器具や注射針などを使う演習は緊張しましたが、看護師に近づいているようで嬉しかったです。

2年生で、初めて臨地に行く基礎看護実習は、コロナ禍のため受け持ち患者さんを持つことはできず、2日間看護師に同行し、看護師の役割や患者さんとのコミュニケーションについて学びました。

学内実習では事例を分析し、看護の実際はシミュレーションで行いました。共に学ぶ仲間たちとディスカッションしながら必要な看護を考える中で、1年生の時から知識の積み重ねが大切だと感じました。

これからも、看護師国家試験をクリアし、救命救急で働く看護師になれるよう、日々努力していきたいです。

看護に関心を持ち、自分の将来を決めようとしたのです。大切な命に向き合い、過酷な勤務をする看護師の姿に刺激を受け、同じ道を志してくれた学生に頼もしい気持ちになります。

看護師資格をとった後は保健師、助産師、養護教諭という道も開かれています。私は助産師学校を卒業後20年間病院で働いた後、自宅出産専門で開業しました。それぞれの場所で、出会った仲間、お母さん、赤ちゃんの思い出が宝物です。

今、看護学生が母性看護を学ぶ手助けをする立場になり、また宝物が増えています。高知学園短期大学で、それぞれの道を一緒に探してみませんか。

Message



看護学科
講師
古川 智代

看護師になるには、看護師養成所を卒業し、国家試験に合格しなくてはならないため、専門的知識・技術を学ぶ必要があります。また、看護師は人を癒し元気づけられる存在であるために、命の誕生や死と向き合う精神的な強さと体力、高い倫理観も必要です。

看護への道は決して楽ではありませんが、「コロナ医療の前線で献身的に闘う看護師のニュースに感動した」「自分も前線で命を救いたい、そう思って看護学科を志望した」と、志望動機を語ってくれる学生に出会います。

歴史的なパンデミックを経験したことで、医療や

特徴的なカリキュラム CURRICULUM



■ファーストステップ演習

看護学生として、初めて看護の現場を体験する。

この科目では、看護の対象者が過ごす病院や施設に出向き、現場の看護師の対象者との関わりを見学し、看護の実際について考えます。

看護の対象者とその対象者の生活の場を知り、自宅での生活環境との違いを考えます。また、コミュニケーションを通して看護職者として求められる意識や姿勢について考えます。学んだ知識と体験を結び付けるためのグループワークを中心に授業を展開します。

■看護学概論

看護学の入門として「看護とは何か」を学ぶ。

初めて看護学を学ぶ皆さんが、「看護とは何か」について考えていくための入門となる科目です。看護の定義や目的、対象の捉え方や看護を提供する場など、看護の基本的な内容を学びます。

今後、学生の皆さんが自身の看護観をつくっていくための、基礎を養う科目です。

■母性看護実習

妊娠、出産を通して、命の尊さ、個人の尊厳を肌で感じる実習。

母性看護実習は、出産前後の母子を受け持ち、母親と新生児が健康に過ごし良い母子関係を築いていくための看護を学びます。学生それぞれが自分の誕生について思いをはせ、生命の尊さについて考える実習でもあります。

出産直後のこの時期は母子共に心身の変

化が激しく、順調な経過をたどっているかどうかの観察や判断がとても重要になります。病院での実習を通して、母子の健康状態を判断するための知識や技術、新しい生命が家族に迎えられるための援助の視点を学びます。

■急性期看護援助論

急激な健康状態の変化が起こっている対象への看護について学ぶ。

急性期は、疾病、外傷、手術などによって健康状態の急激な変化が引き起こされた時期です。急性期看護援助論では、このような時期にある対象の生命を守り、速やかな回復を促進するための観察、判断、適切な処置・ケアに関する知識や技術を学びます。

また、急性期の健康問題を持つ対象を身体、精神、社会面から総合的にとらえ、安全や安楽に配慮した看護援助の方法について学びます。

■慢性期看護援助論

慢性期にある健康問題をもつ人が、自分らしく生活を送るためにはどのような看護が提供できるかを学ぶ。

慢性期にあるとはどのようなことを意味するのかを考え、健康問題を自らマネジメントしながら生活している方に、どのような場面でどのような看護が必要か具体的に考えていきます。

設定した模擬患者さんについて、グループで協力し合いながら課題の解決に向けて看護を展開し、それを発表することで、考え・伝え・他者と共有しながら学びを深める授業を展開していきます。

■小児看護学概論

子どもと家族の理解を深めながら、小児看護学の理念と特性について学ぶ。

子どもを理解するための基礎となる考え方や理論を学び、成長・発達過程にある子どもの特徴について理解を深めます。

また、様々な発達段階の子どもと家族の生活、健康問題を理解し、健康を害することが子どもと家族にとってどのような体験なのかを考えます。さらに、子どもの権利を擁護するための倫理的な考え方を学びます。

■老年看護援助論I

高齢者のもつ強みを活かして自律した生活を支える看護について学ぶ。

高齢者は、豊富な経験と知識をもち、それぞれ多様な生き方をされてこられた個性の強い存在です。

加齢変化と病や障害をあわせもつ心身の捉え方や、食事や排泄にみられる高齢者に特徴的な変調と援助技術について学び、高齢者の強みを活かした日常生活援助に応用できる力を培います。

■地域生活論

援助する人々の「地域」や「生活」を捉える視点を養う。

看護の対象である「人」は、地域で生活しています。その「人」に援助をするためには、「生活」や「地域」の理解が不可欠です。

この科目では、グループディスカッションを通して、人々が地域で生活することの意味や、生活と健康との関係について考えていきます。

■精神看護実習

こころの問題を抱える対象の生きづらさを理解し、必要な看護について考える。

精神看護実習では、精神科の病棟で、統合失調症や躁うつ病・不安障害・摂食障害といったこころの病気を持つ方と出会います。

そこでお話を聴かせていただきながら、病気による症状の辛さや生きづらさについて考え、病気のために日常生活をうまく送ることができない場合の援助を学びます。また、精神疾患を持つ人々とその家族が、地域でより良く生きることを支えるための法律やサービスについて学びます。

保健師、
養護教諭（一種）を
目指します。



Advanced Course in Community Health Nursing

高知学園短期大学 専攻科

地域看護学専攻

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 学士（看護学）の学位 ※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定
- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭一種免許状（養護教諭二種免許状取得者のみ）
- 第一種衛生管理者（保健師免許取得後申請による）

ココをチェック！ 地域看護学専攻の特徴

CURRICULUM

公衆衛生看護を学ぶ



公衆衛生看護の基盤となる考え方を学ぶ。

公衆衛生看護は、行政・学校保健・産業保健の3領域を含み、地域で生活する誰もが心も身体も健康で自分らしく暮らすことができるように、人と環境に働きかけを行います。

本専攻科では、学内での講義や演習に加え、実際に地域に出向き地域を知る体験や、実習を通して公衆衛生看護を学んでいきます。

少人数制のきめ細やかで手厚い授業



主体的な協同学習で社会人基礎力を培う。

定員20名という少人数で、講義、演習に取り組めます。授業は表現力や理解力を高めるためのグループワークやロールプレイがふんだんに取り入れられています。その経験から「自ら学ぶ力」を身につけていきます。国家試験対策もクラスで協力して取り組みます。

専攻科生の修了研究



研究の集大成をプレゼンテーション。

担当教員の個別指導のもと、自らテーマを設定し看護研究の一連のプロセスに取り組み、研究能力を高めます。

研究内容や研究方法の検討はもちろんのこと、研究に必要な手続きや研究倫理に関することなど、将来看護専門職者として看護研究に取り組むことができる能力を培います。

■専攻科地域看護学専攻の教育目的

平和と友愛の精神を基盤に、修得してきた看護師の専門的知識と技術をもとに、公衆衛生看護学の知識体系を学修します。そして、広い視野と洞察力、豊かな創造性をもって他者と協働し、個人・家族・集団・組織からなる地域社会全体の健康レベルと生活の質の向上のために貢献できる看護専門職者を養成します。さらに、研究活動や看護実践を通して倫理的感受性を高めるとともに、課題発見力や倫理的な思考力、表現力といった看護学の発展に寄与するための能力を養います。



地域社会全体の健康レベルの向上のために、広い視野と洞察力をもち創造性豊かに他者と協働できる看護専門職者を養成します。

専攻科地域看護学専攻では、看護師免許を取得後に1年間で公衆衛生看護学を学び保健師免許の取得と同時に、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の要件を満たし審査に合格することにより学士（看護学）の学位取得を目指します。さらに、養護教諭二種免許取得者は選択制で養護教諭一種免許を取得することができます。このように本専攻科は、皆さんが描くキャリアプランを実現するためのカリキュラムを準備している、全国でも数少ない保健師養成課程の一つです。

新型コロナウイルス感染症は、未だに私たちの生活に影響を及ぼし続けています。長引く行動の自粛や生活スタイルの変容を求められ、国民の多くがストレスや不安を抱えながら過ごす中、保健師は地域の人々の健康を守るための要となる役割を担い、公衆衛生看護活動に携わっています。地域で生活する人々が安心して自身の望む生活を送ることができるよう、健康の側面から支援する看護専門職者を目指したいと考えている皆さん、ぜひ専攻科地域看護学専攻で一緒に学びましょう。

専攻科
地域看護学専攻 専攻長
矢野 智恵

CAREER DESIGN



地域看護学専攻のキャリアデザイン

本専攻科を修了し、学位申請（特例適用専攻科）又は機構の認定（認定専攻科）により4年制大学と同等の学士（看護学）を取得できます。

●保健師国家試験受験資格



●学士（看護学）の学位



●養護教諭一種免許状（選択）



予想される進路

- 都道府県庁・市役所（保健所）
- 学校
- 市町村役場
- 進学
- 医療機関



MESSAGE
FROM CAMPUS
先輩からの
エール

専攻科地域看護学専攻 修了生
中城 奈々美

私が専攻科地域看護学専攻を志望した理由は、病院を退院した人が自宅に戻った後の生活や、健康な人が健康を保ちながら生活するための支援について学びたいと考えたからです。

専攻科地域看護学専攻では、地域をみる視点や地域で暮らす人々の健康を守るための支援の在り方などを学びます。授業では学生主体のグループワークを通して、自分の考えを相手に伝える表現力や他者と協働する力を高めることができます。実習では保健師やその他の専門職と共に、住民の方々と関わり、生活の様子や思いを知ることができます。そして、地域で暮らす人々がその人らしく生活していけるように、健康の側面から生活を支える支援について考え、実践する力の基礎を身につけることができます。さらに、1年を通して一人で取り組む修了研究では、根拠を基に考える力と探究する力を身につけることができました。

専攻科に進学して、地域で暮らす人々の生活や気持ちに寄り添い、住み慣れた地域で生活を続けていくことを意識した看護の大切さを改めて考えることができました。

私はこの学びを活かして、子どもとその家族が健康を保ち安心して生活できるように支えられる養護教諭を目指します。



高知学園短期大学が定める学習成果と方針

Our Policy

高知学園短期大学

■学習成果

高知学園短期大学では、教育基本方針に基づき、高知学園大学と協働して食・教育・医療を総合的に理解し活用する専門的職業人を育成するため、本学における教育と学習を通じて次の四つの能力を獲得することができる。

- ①専門的職業人として必要な知識と技能を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
- ②社会の状況を積極的に受け入れる柔軟な感性を持ち、周囲に広げていくことで、最新の知見を導き出し、適切な判断を下すことができる。
- ③倫理的な観点から専門的知識と技能を活用して考え抜き、自ら行動することができる。
- ④自分の意見を的確に伝えと同時に多様な人々の意見を聴くことによって、相互に理解し尊重しあいながら自分の役割を果たすことができる。

・学習成果とは、本学で学んだ一定の学習期間を終えた時に、学習を通して皆さんが気づき、理解し、行い、実践できることが期待される内容を示したものです。
・つまり、本学で学ぶことによって「できるようになる」ことを意味しています。
・毎日学習することは、この方針に示した目標へ少しずつ確実に近づくために必要な過程なのです。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

高知学園短期大学では、本学学生が学習成果を達成して人類の福祉と文化の進展に寄与していくため、本学における教育と学習を通じて以下の能力を獲得した者に短期大学士の学位を授与する。

- ①各学科の専門性における知識や技能を習得し、全学及び各学科の教育目的に合致する資質と能力を獲得した者。
- ②本学が掲げるキャリア形成基礎力の四つの能力「感じ、広げる力」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけた者。
- ③人命を預かる責任感と倫理観を有し、世界や地域の動向を理解して専門的知識と技能を活用する実践力を備えた者。
- ④専門的知識や技能を活用し、広い視野から多様な人々と協働し学び続ける力を有する者。

・卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)とは、本学を卒業する時の皆さんに期待される人物像を示したものです。
・つまり、皆さんが卒業までにどのような能力を身につけることを目指すのかを意味しています。
・この方針に示した目標を実現するために、毎日学習することを継続して積み重ねていきます。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

高知学園短期大学では、平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と社会性を身につけた専門的職業人を育成するため、以下の方針に基づいて教養教育と専門教育の区分を軸とした教育課程を編成し、質の高い教育を実施する。

- ①人々の健康的な成長と豊かな生活に貢献できる専門的職業人を育成するため、専門的な知識や技能に基づく分野を学科別に設定した専門教育の課程を編成し、生命を預かる責任感と倫理観に基づく総合的・創造的な実践力を段階的に養う教育を実施する。また、食・教育・医療と関連する領域の専門性を尊重しながら学科横断的に協働することを通して、多角的かつ総合的に思考し専門性を高める教育を実施する。
- ②さまざまな問題の原因を探り課題を克服しながら成長できる専門的職業人を育成するため、具体的な授業内容と到達目標及び授業以外で学習すべき内容を明確に示す教育課程を編成し、自ら計画を立てて主体的に学ぶことができる教育を実施する。
- ③高知学園大学との協働を通じて食・教育・医療を総合的に理解し活用することのできる専門的職業人を育成するため、広い視野から思考し実行する教養教育の課程を学科別に編成し、人々のために役立つ責任感と倫理観をもって価値の多様性を知る教育を実施する。
 - (1)グローバルな視点から文化を理解し尊重するため、教養教育に「芸術と文化」を基本とする分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的理解を深める教育を実施する。
 - (2)科学的思考に基づき、一つの問題を幅広い視野から考えるため、教養教育に「社会と自然」を基本とする分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。

- ③人々の健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」を基本とする分野を編成し、体験を通して健康と運動との関連について理解を深める教育を実施する。
- ④自らの成長と課題を自覚することができる専門的職業人を育成するため、基礎から応用へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自らが新たな目標を定め主体的に学ぶことができる教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を高知学園短期大学・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

・教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)とは、卒業認定・学位授与の方針に示した目標の達成につながる方策・手段をまとめたものです。
・つまり、皆さんが自ら学習計画を立てて主体的に学ぶことができる教育課程を実施するための計画です。
・この方針に示した目標を皆さんが達成できるように、大学は授業科目や教育活動を適切な時期に適切な段階を経て学べるよう編成し、実施しています。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

高知学園短期大学のいずれの学科に学ぶ学生に共通して身につける能力は、(1)学びに熱心に取り組むこと、(2)変化する時代、進歩する技術に敏感に対応すること、(3)常に挑戦する心を持っていること、(4)人間関係が円滑に結ぶことである。そこで、本学では、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができていない人を入学者として求めている。

- ①深く学ぶことを求めている人。
- ②自己実現を目指している人。
- ③強い意志を持っている人。
- ④広い心を保ち、高い理想に燃えている人。

以上の人材として、本学のすべての学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語：基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
数学：論理的な思考力、数的な処理能力
理科：自然現象に対する科学的な思考力・判断力
地理歴史・公民：変動する社会に対応できる基礎的知識と応用力
外国語：目的に応じた英語文章の読解力と表現力、異文化への理解
情報：情報に関する科学的思考力・判断力、及び情報機器等を正しく活用する基礎力
芸術・保健体育：活動に対する主体性と基礎的な表現力

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類及び面接等による試験を通じて「平和と友愛の精神を理解し、明確な目標をもって計画的に学び続ける意欲と態度を有すること」、及び思考力、判断力、表現力等を重視した基礎学力検査、知識・技能、論理力、応用力等を重視した学力試験や小論文による試験を通じて「各専門分野に必要な基礎学力を備え、継続して向上に努めること」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。
入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができていない人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験(指定校制)：面接及び提出書類の評価を通して、幅広い学力と社会性を備え、明確な目標をもって計画的、継続的に学ぶ意欲を有する人を選抜する。
総合型選抜入学試験A・B：自己推薦書や面接及び提出書類の評価を通して、専門分野に対する持続的な強い関心と社会へ貢献する意欲を有する人を選抜する。
学校推薦型選抜入学試験(公募制)：基礎学力検査や面接及び提出書類の評価を通して、基本的な判断力、思考力や表現力及び社会性を有する人を選抜する。
一般選抜入学試験A：学力試験や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力と社会性や専門分野への関心、勉学への意欲を有する人を選抜する。
一般選抜入学試験B：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、論理力や応用力が豊かな人を選抜する。
社会人入学試験：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力や社会に対する問題意識と高い関心を有し、社会での経験を有意義に活用することができる人を選抜する。
外国人留学生入学試験：作文や面接及び提出書類の評価を通して、日本語による読解力と会話力を備え、母国と日本の発展に貢献しようとする意欲、及び国際的視野に基づく目標と計画を有する人を選抜する。

・入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)とは、教育課程編成・実施の方針に基づく教育活動を実現するために、どのような能力や特性をどのようにして身につけてきた人物を入学者として求めているかを示したものです。
・皆さんは、この方針に適した人物として認められました。
・その自信と誇りを大切に、仲間との多様な特性を肯定的に認め、ともに成長しあえる学生生活を送ってください。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

- ①学習成果の査定方法
高知学園短期大学(以下「本学」という。)では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル(短期大学)・教育課程レベル(学科・専攻)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。
 - (1)機関レベル
本学では、学生を対象にした学生生活に関する調査を実施し、その結果に基づいて学習成果の獲得状況を総合的に査定する。さらに、学生の進路決定状況(就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率、及び進学率等)、卒業後の取組状況から学習成果の達成状況を査定する。
 - (2)教育課程レベル
学科・専攻の所定の教育課程における免許・資格の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通じた学習成果の達成状況を査定する。また、学年ごとの単位修得・成績分布の状況、及び学習活動や社会活動への取組状況から、専門的知識・技能を身につけ、最新の知見を導き出し適切な断を下すとともに、倫理的な観点から考え抜いて自ら行動することができ、かつ多様な人々と相互に理解し尊重しながら自分の割を果たすことができる能力について、1年次における基礎と応用、2年次以降における定着と実践、及び平和と友愛へ貢献するための資質と能力の獲得状況を学習成果として査定する。
 - (3)科目レベル
シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケート等の結果から、科目ごとの学習成果の獲得状況及び達成状況を査定する。

- ②成績評価の基準
高知学園短期大学学則第24条に基づき、科目レベルにおける到達目標の達成状況について評価を行う。
その際、以下の到達状況を基準として評点で示す。

- a 優(合格)
 - (a)100～90点：到達目標を達成し、きわめて優秀な成績を修めている。
 - (b)89～80点：到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
- b 良(合格)
 - (a)79～70点：到達目標を達成している。
- c 可(合格)
 - (a)69～60点：到達目標を最低限達成している。
- d 不可(不合格)
 - (a)59点以下：到達目標を達成していない。

・学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)とは、教育課程編成・実施の方針に基づいて学習し、達成できた学習成果をどのように評価するのかを示したものです。
・評価は、卒業認定や進路決定状況、卒業後の取り組みなど大学全体で評価する「機関レベル」、免許・資格の取得状況や卒業要件の達成状況など学科で評価する「教育課程レベル」、各授業科目に示された到達目標の達成状況などを評価する「科目レベル」の3段階で行われます。

幼児保育学科

■学習成果

幼児保育学科では、子どもの健やかな成長を育むことで、世界の平和と友愛に貢献できる社会人となるため、次に掲げる能力を獲得する。

- ①子どもたちの集団生活を育む教育・保育に必要な知識と技能を獲得することで、問題を発見し理論的な洞察力で解決することができる。
- ②多様な情報を客観的に理解し社会貢献に向けた適切な判断力と自尊感情を獲得することで、子どもの心身の発達を支援することができる。
- ③愛情に満ちた豊かな人間性を獲得することで、健やかな成長に適した環境を構成することができる。
- ④最新の教育・保育理論を備えた保育の指導計画を立案し実践する能力を獲得することで、保育に関する指導を行うことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

幼児保育学科では、平和と友愛の精神に則り、次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士(幼児保育学)の学位を授与する。

- ①保育者に必要な専門的知識及び基本的技能を身につけた者。
- ②多様な視点から現実を深く洞察することで、社会的状況を分析しながら人命を預かる責任感を身につけた者。

- ③子どもの健やかな成長を願う豊かな人間性を身につけた者。
- ④社会の諸問題に対して、子どもの教育・保育に基づいた考えをまとめ、表現し、行動することができる者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

幼児保育学科では、幼稚園教諭と保育士、保育教諭を養成するための教育課程を基本とし、保育を通して世界の平和と友愛に貢献するために有益な教養教育と専門教育の教育課程を編成し、特に以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。

- ①教育・保育における応用的・実践的な理論・技能への発展性と一貫性を理解する総合的な教育課程を編成することで、保育者として果たす責務を認識し、専門性を向上する教育を実施する。
 - (1)保育の領域について、領域それぞれの学問的背景や基盤となる考え方を学ぶため、「教育及び保育の領域」の分野を編成し、保育内容に基づいて子どもを理解する教育を実施する。
 - (2)教育保育の理念や子どもの心身の発達に寄与する役割を自覚するため、「教育及び保育の本質・目的・対象の理解」の分野を編成し、子どもの発達に基づいて保育の重要性を考える教育を実施する。
 - (3)教育・保育を通じて育みたい資質・能力を子どもの生活から捉えるため、「教育及び保育の内容・方法」の分野を編成し、子どもの生活の中から幼児保育学の基礎理論や表現技術、指導の方法を身に付ける教育を実施する。
 - (4)食・教育・医療の各専門分野と連携して、子ども理解を深める保育者を養成するため、「総合的専門科目」を編成して、子どもの健康を多様な視点から考え、他の専門分野と学科横断的に連携する教育を実施する。
 - (5)教育・保育の現場で子どもの最善の利益を尊重する姿勢を育てるため教育実習・保育実習の分野を編成し、専門的理論及び技能を正しく活用した保育実践力を養う教育を実施する。
- ②常に教育・保育に関する新しい問題に向かって、原因を究明しながら成長できる専門的職業人を養成するため、授業で学習する内容と授業以外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育課程を編成し、子どもの心身の発達を理解し主体的に学ぶことのできる教育を実施する。
 - (1)学習成果を適切にフィードバックする教育を実施するため、学修ポートフォリオを導入して学生が自らの学びをふり返り、目標を立てて達成度を確認できるようにする。
- ③教養教育では、倫理的な責任感に基づいて広い視点から保育の意義を考え実践するための教育を実施する。
 - (1)グローバルな視点から子どもの成長を考え、多様な文化を尊重する保育者を養成するため、教養教育に「芸術と文化」の分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的理解を深める教育を実施する。
 - (2)科学的思考に基づき、あらゆる問題を幅広い視野から思考できる保育者を養成するため、教養教育に「社会と自然」の分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。
 - (3)子どもの健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」の分野を編成し、スポーツや体験を通して健康と運動の関連について理解を深めるための教育を実施する。
- ④日常生活におけるさまざまな問題を幼児保育の観点から発見し、問題を積極的に解決しようとする意欲と姿勢を持った専門的職業人を養成するため、基礎から応用・実践へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自ら目標を立てて主体的に取り組む教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を幼児保育学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。



高知学園短期大学が定める学習成果と方針

Our Policy

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

幼児保育学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、①あらゆる教育科目に精一杯取り組む人、②常に模範的な行動と態度を心がける人、③目標を達成するまで絶対にあきらめない人、④人々と協力しあいながら自分自身と仲間の成長を志す人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①全般的な基礎学力を有する人。
- ②規律を守る人。
- ③大学生活を最優先に考えた基本的な生活習慣を確立している人。
- ④多様な人々とのコミュニケーションを大切にすることができる人。

以上の人材として、幼児保育学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語：日本語による文章を論理的に正しく読み解き、自分の考えを明確に表現し、的確に伝える力
数学：物事をデータ等に基づいて論理的・客観的に思考できる力
理科：自然現象や環境について客観的に観察し、論理的に思考する力
地理歴史・公民：個人と社会を取り巻く多様な状況と変化を理解し、社会の仕組みに対応していく力
外国語：外国の人々・文化・社会に対する関心と交流に必要な英語の読解、表現、作文、会話に関する基礎的な技能
情報：パソコンの基本ソフトを活用する力
音楽：歌唱や器楽による基礎的な音楽の表現力
美術・書道・工芸：作品を鑑賞し、自らの手で構想し創造しながら表現するなど、芸術表現に関わる基本的な能力
保健体育：健康や心身の発達の特徴に関する理解、活動に対して主体的に取り組む姿勢、及び基礎的な運動能力

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接等による試験を通じて「幼児保育への関心を抱き、明確な目標をもって計画的かつ継続的に学ぶ意欲と態度を有すること」、及び基礎学力検査や学力試験、実技試験等を通じて「思考力や判断力を中心に、知識や技能、論理力や応用力を含む基礎学力と実技の基礎的な表現力の向上に努めること」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験(指定校制)：面接及び提出書類の評価を通して、模範的な学校生活を送り、幅広い学力と表現力、社会性を備え、幼児保育に必要な適性を高めるよう意欲的かつ継続的に努めることができる人を選抜する。
総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書や面接及び提出書類の評価を通して、幼児保育の専門性を活かして社会に貢献する意欲と目標を抱き、その実現に向けてたゆまぬ努力をすることができる人を選抜する。
学校推薦型選抜入学試験(公募制)：国語による基礎学力検査や音楽の実技試験、面接及び提出書類の評価を通して、確かな学習習慣を形成し、豊かな表現基礎力を有する人を選抜する。
一般選抜入学試験A：国語による学力試験や音楽の実技試験、面接及び提出書類の評価を通して、保育を実践し記録をまとめるために必要な一定の学力と豊かな表現基礎力を有する人を選抜する。
一般選抜入学試験B：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、基礎学力を適した論理力や幼児保育への応用力が豊かな人を選抜する。
社会人入学試験：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力と社会における経験を有意義に活用して、幼児保育に対する問題意識と高い関心を有し、他の模範となって学び続ける意欲を備えている人を選抜する。
外国人留学生入学試験：作文や面接及び提出書類の評価を通して、日本語による読解力と会話力を備え、幼児保育を通じて母国と日本の発展に貢献しようとする意欲、及び国際的視野に基づく目標と計画を有する人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

高知学園短期大学幼児保育学科(以下「本学科」という。)では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針の一貫性を確保するため、機関レベル(短期大学)・教育課程レベル(本学科)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。

- ①機関レベル
本学が実施する学生を対象とした大学生活に関する調査の結果に基づいて、本学科における学習成果の獲得状況を査定する。また、学生の進路決定状況(就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率、及び進学率等)、卒業後の取組状況から学習成果の達成状況を査定する。
- ②教育課程レベル
本学科では、「問題解決」に関する学習成果について、試験及びレポート等における知識と技能の獲得状況に基づいて査定する。「発達支援」に関する学習成果については、試験及びレポートにおける判断力、ポートフォリオに

おける自尊感情の獲得状況に基づいて査定する。「環境構成」に関する学習成果については、試験及びレポート、実技等における子どもの健やかな成長を願う人間性の獲得状況に基づいて査定する。「保育指導」に関する学習成果については、試験及びレポート等に加えて実習評価における指導計画の立案と実践に対する獲得状況に基づいて査定する。以上の各能力を、1年次における基礎と応用、2年次における知識と技能の定着や判断力・自尊感情及び人間性の獲得、さらに保育実践力の獲得状況を学習成果として総合的に査定する。また、本学科の所定の教育課程における幼稚園教諭二種免許・保育士資格の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)、及び同窓生を対象にした学習成果に関する調査の結果に基づき、教育課程全体を通して学習成果の達成状況を査定する。

- ③科目レベル
学習成果の査定にあたっては、診断的評価、形成的評価、総括的評価を積極的に行う。特に形成的評価における課題(小テスト、レポート、発表、作品等)の評価は適切にフィードバックを行い、学生が学期を通して理解を深めていくことを心掛けて学習成果の獲得状況を査定する。さらに、シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケート等の結果から、科目ごとの学習成果の達成状況を査定する。なお、査定にあたっては「幼児保育学科・学習成果評価のためのルーブリック」及び「幼児保育学科カリキュラム・マップ」を参考にする。

■CAP制

幼児保育学科では、1学期間に履修できる単位数の上限を30単位と定めています。

歯科衛生学科

■学習成果

歯科衛生学科では、教育目的に基づき、専門的職業人として継続的な口腔衛生管理及び食支援をするため、次に掲げる能力を獲得する。

- ①専門的知識と技能を身につける思考力・判断力を高めることにより、口腔衛生管理と健康支援をすることができる。
- ②倫理観を持ち、生活背景・人生経験豊かな人々を敬い傾聴すること、また異文化を理解することにより、さらにコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③良好な人間関係を構築し、他職種と協働・連携することにより地域貢献を推進していく主体的な力を持つことができる。
- ④自己研鑽を重ね、情報収集し、課題解決をプレゼンテーションする構成力と表現力を身につけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

歯科衛生学科では、学習成果に基づき、口腔衛生管理の専門職になるために次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士(歯科衛生学)の学位を授与する。

- ①根拠に基づいた全人的観点から継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を身につけた者。
- ②豊かな人間性と倫理観を持ち、異文化を理解し価値観を尊重したうえで言語等を通して人を敬い傾聴する姿勢を身につけた者。
- ③保健・医療・福祉を総合的に捉え、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を持ち地域及び他職種と協働・連携することができる者。
- ④将来に向けてのミッションを持ち、考えを広げ学び続ける意欲と課題解決をまとめプレゼンテーションできる能力を有する者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

歯科衛生学科では、広い教養と良識のある歯科衛生士を育成するための教育課程を編成し、歯科医療の高度化と多様なニーズに対応するための知識と技能を習得することを基本とし、以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。

- ①基礎分野教育課程を編成することで、良好な人間関係を構築するために科学的思考の基礎及び人間と生活に必要な教育課程を編成し、豊かな人間性とロジカルな思考プロセスを組み、言語を通してコミュニケーション力を養うための教養教育を実施する。
- ②専門基礎分野教育課程を編成することで、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと予防など基本的知識を習得するとともに健康に関わる社会の仕組みを理解するために必要な教育課程を編成し、基本的な専門基礎教育を実施する。
- ③専門分野教育課程を編成することで、口腔に関わるより専門的な知識と技

術を習得するとともに、保健医療人としての基本的な態度・論理的思考に必要な教育課程を編成し全人的視点からの継続的な口腔衛生管理及び食支援ができる専門教育を実施する。

- ④選択必修分野教育課程を編成することで他職種と協働・連携の重要性を理解するために必要な教育課程を編成し、3年間のまとめとして健康教育での学びをプレゼンテーションする力を高める自主的な教育を実施する。

以上の方針の下、授業で学習する内容と授業外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育を体系的に編成して実施し、獲得された学習成果を歯科衛生学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

歯科衛生学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、①気持ちを共有することができる人、②話を聞くことができる人、③歯科衛生学を学ぶ意欲がある人、④協調性があり、協働できる人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①明朗活発で国際的にも見聞を広める意欲と人を敬い傾聴できる人。
- ②倫理観を身につけて他職種と協調性を持ち歯科医療を担うという職業的使命感を有する人。
- ③前向きな姿勢と自主性があり学習意欲のある人。
- ④専門職として学び続ける意欲があり、生命の尊さや喜びを感じることができる人。

以上の人材として、歯科衛生学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語：読書の習慣を養い、文章から論理を読み取る読解力
数学：問題を解決していく過程での論理的な思考力
理科：自然現象に対する科学的な思考力・判断力
(化学基礎)化学反応と物質、イオン結合とイオン結晶
(生物基礎)生物の特徴、代謝、遺伝子情報、体内環境と恒常性
(物理基礎)電気・電子、原子・原子核など
地理歴史・公民：社会の動向を理解し、的確に対応する知識と教養
外国語：異文化理解、コミュニケーション力
情報：情報機器等を正しく活用する基礎力
芸術：感性や最後までやり遂げる力
保健体育：健康の保持増進と安全についての理解力

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接等による試験を通じて「学校生活での活動や計画的な将来への目的意識」及び基礎学力検査や学力試験等を通じて「基礎学力、表現力」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験(指定校制)：面接及び提出書類の評価を通して、学校生活での活動に対する積極性や目的意識の高い人を選抜する。
総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書や面接及び提出書類の評価を通して、目的意識が高く、社会貢献に対しても意欲的な人を選抜する。
学校推薦型選抜入学試験(公募制)：国語、英語、化学基礎、生物基礎、数学Ⅰのいずれかによる基礎学力検査、面接及び提出書類の評価を通して、必要な思考力や判断力及び学習意欲を有する人を選抜する。
一般選抜入学試験A：国語、英語、化学基礎、生物基礎、数学Ⅰのいずれかによる学力試験、面接及び提出書類の評価を通して、必要な学力及び目的意識のある人を選抜する。
一般選抜入学試験B：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、思考力及び表現力を有する人を選抜する。
社会人入学試験：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、社会情勢に関心を持ち、主体性のある人を選抜する。
外国人留学生入学試験：作文や面接及び提出書類の評価を通して、歯科衛生士に対する理解と日本語の読解力及び学習意欲のある人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

高知学園短期大学歯科衛生学科(以下「本学科」という。)では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル(短期大学)・教育課程レベル(専攻)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

- ①機関レベル
学生の志望進路(就職率、免許を活かした専門職への就業率及び進学率等)及び国家試験の結果から学習成果の達成状況を査定する。
- ②教育課程レベル
所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)と教育課程全体を通して学習成果の達成状況を査定する。また、学年ごとの単位

取得率・成績状況から、①倫理観を含む学士力における知識・理解については1年次の基礎分野と専門基礎分野を中心②協働・連携に関わる汎用的技能と態度・志向性及び活用と実践については特に2年次の専門基礎分野と専門分野③口腔衛生管理・支援及びプレゼンテーション力に関わる総合的学習・創造的思考については3年次専門分野と選択必修分野の獲得状況を学習成果として査定する。

- ③科目レベル
シラバスで提示された授業科目の授業目的及び到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケートの結果から、科目ごとの学習成果の達成状況を査定する。査定にあたっては、授業の過程における課題(小テスト、レポート、発表、作品)の評価は適切にフィードバックを行い、チェックして学生が理解を深めていくことを心掛けてルーブリックで学習成果を査定する。授業終了後には最終のテスト及び授業アンケートの結果で学習の達成状況を査定する。

■CAP制

歯科衛生学科では、1学期間に履修できる単位数の上限を25単位と定めています。

看護学科

■学習成果

看護学科では、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者となるため、所定の教育課程を修了することで、次に掲げる能力を獲得する。

- ①専門的知識・技術を用いて対象の全体像を捉え、根拠に基づいた看護を展開することができる。
- ②看護の対象と適切な援助関係を築き、人々の尊厳と権利を尊重した看護を提供することができる。
- ③他者との協働関係を築き、自己の役割を果たすことができる。
- ④広く社会の情勢を知り、主体的・継続的に学習に取り組むことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護学科では、学科所定の単位数を修得するとともに、次の要件を満たすと認められた者に短期大学士(看護学)の学位を授与する。

- ①看護の専門的知識・技術を習得し、対象を包括的に捉え、根拠に基づいた看護を実践する能力を有している。
- ②豊かな人間性と倫理観をもち、対象を尊重した看護を実践する能力を有している。
- ③対象の健康課題解決のために、他者との協働関係を構築し、チームの中で自己の役割を果たすことができる能力を有している。
- ④より良い看護を実践するために深く思考し、探究し続ける能力を有している。



高知学園短期大学が定める学習成果と方針

Our Policy

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

看護学科では、豊かな人間性と倫理観を備え、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者を養成するため、以下の方針に基づいて「教養・基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」の3つの区分を柱とした教育課程を編成する。

- ①「教養・基礎分野」では、豊かな人間性を育み、看護学の基盤となる様々な学問領域における知識や教養を身につけるための教育課程を編成する。
 - 1)「豊かな人間性の探求」では、人々の生活や文化を理解するとともに、自らの感性を磨きつつ、キャリアについて考えを深めるための科目をおく。
 - 2)「科学的思考の基盤」では、急速に発展する医療・看護に対応するための情報通信技術を活用することができる能力を養うための科目をおく。
 - 3)「人間と生活・社会の理解」では、互に関係性を築き、多職種と協働しながら看護を提供することができる能力を養うための科目をおく。
- ②「専門基礎分野」では、「人体の構造と機能」、「疾病の成り立ちと回復の促進」、「健康支援と社会保障制度」について学び、個人、家族、地域社会それぞれの健康レベルに合わせ、根拠に基づいた看護を提供するための教育課程を編成する。
- ③「専門分野」では、より専門性の高い知識と技術を学び、演習や実習を通して、それぞれの領域において対象となる人々に必要な看護を提供するための教育課程を編成する。
 - 1)1年次より、看護の対象者が地域の生活者であるという視点を持つことができるよう「基礎看護学」の次に「地域・在宅看護論」を配置する。
 - 2)各専門領域では、学生自らが主体的に学び、対象への看護について深く思考する能力を獲得するために、グループワーク・ロールプレイング・シミュレーションなどを取り入れた授業を実施する。
 - 3)「看護の統合と実践」では、既習の知識や技術と体験を緊密に合わせ、対象に必要な看護を提供するために課題を探究・考察することができ、自身の看護観を深めることができる教育内容とする。
- ④すべての講義・演習・実習を体験しながら、コミュニケーション能力や他者と協働する力・倫理観を育むことができるよう、領域横断的・継続的な教育内容とする。以上の方針の下、獲得された学習成果を看護学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

看護学科では、豊かな人間性と倫理観に基づき、看護の知識や技術を活用して自ら判断し行動できる看護専門職者の養成を目指しており、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①他者及び自己のこころと身体、健康、生活に関心がある人。
- ②看護学を学ぶために必要な基礎学力を有する人。
- ③主体的に学ぶ意欲と態度、習慣を備えている人。
- ④自らの考えを他者にわかりやすく表現する力のある人。
- ⑤コミュニケーションを大切にし、他者と協力できる人。

以上の人材として、本学科では入学するまでに次の教科・科目の知識・技能を有している人が望まれる。

国語：基礎的な日本語の文章の読解力、相手の話を聴く力、相手に伝わる表現力
数学：論理的な思考力、看護に必要な課題達成のための数的な処理能力
理科：人間の身体、構造や仕組みを理解し、看護を実践するために必要な基礎的な科学の知識
地理歴史・公民：個人を取り巻く社会の状況、仕組みを理解し、社会の変化を読み解くための基礎知識
英語：看護に必要な英語を学ぶための基礎的な読解力と表現力、異文化理解
情報：情報モラルを身に付け、必要な情報を収集・整理・活用できる能力
保健体育：健康について多面的な側面から考えることができる基礎知識、健康で安全に生活するための知識・技能

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接、小論文、基礎学力検査や学力試験等を通して、看護への関心をもち、明確な目標をもって計画的かつ継続的に学ぶ意欲と態度を有すること、看護を学ぶために必要な基礎知識や論理的な思考力、表現力を備えていることを総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験(指定校制)：面接、提出書類の評価を通して、模範的な学校生活を送り、幅広い学力と表現力、社会性を備え、看護への適性を高めるよう意欲的かつ継続的に努力することができる人を選抜する。
総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書、面接、提出書類の評価を通して、人々の健康と生活に関心をもち、看護の専門性を活かして社会に貢献する意欲と目標をもって、主体的に学習に取り組むことができる人を選抜する。
学校推薦型選抜入学試験(公募制)：国語・英語・化学基礎・生物基礎・数学Ⅰのいずれかによる基礎学力検査、面接、提出書類の評価を通して、意欲的に学校生活を送り、社会性と看護学を学ぶために必要な基礎学力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験A：国語・英語・化学基礎・生物基礎・数学Ⅰのいずれか1科目及び小論文による学力試験、面接、提出書類の評価を通して、看護学を学ぶために十分な学力と社会性を備え、論理的思考力と豊かな表現力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験B：小論文、面接、提出書類の評価を通して、社会への関心と幅広い学力、論理的思考力と豊かな表現力を有する人を選抜する。
社会人入学試験：小論文、面接、提出書類の評価を通して、看護に対する高い関心を有し、一定の学力と社会における経験を有意義に活用して、他の学生の模範となって学び続ける意欲を備えている人を選抜する。
外国人留学生入学試験：作文、面接、提出書類の評価を通して、看護学科での授業や演習、実習に参加できるだけの日本語による日常会話力、読解力、記述力を備え、看護を通じて母国と日本の発展に貢献しようとする意欲を有する人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

高知学園短期大学看護学科(以下「本学科」という。)では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル(短期大学)・教育課程レベル(学科)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

- ①機関レベル
学生の進路決定状況(就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率及び進学率等)及び国家試験合格状況、卒業後の第三者評価の聴取などから学習成果の達成状況を査定する。
- ②教育課程レベル
本学科の所定の教育課程における看護師免許の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。
 - 1)専門的知識・技術の獲得と根拠に基づいた看護の展開については「専門基礎分野」「専門分野」の試験及びレポート、発表、実技等で査定する。
 - 2)対象との関係性の構築及び倫理観の獲得については、臨地実習における態度、情報リテラシー、患者との関係性構築、倫理に関する学びの発表や実習記録等で査定する。
 - 3)他者との協働関係構築については、講義・演習におけるグループ活動への臨み方、臨地実習におけるチームでのコミュニケーションスキル、論理的思考力、問題解決力などを、実習態度、実習記録やカンファレンス、個人面談等で査定する。
 - 4)主体的・継続的な学習への取り組みについては、講義・演習・実習に対する姿勢、単位履修状況、学びのレポート、発表、実習記録等で査定する。また、汎用的能力については、ポートフォリオによる評価を3年間継続的に行う。教職課程においては、教職課程選択者数及びその推移、養護教諭二種の免許の取得状況(単位修得状況、GPA)から、教職課程における学習成果の達成状況を査定する。
- ③科目レベル
学習成果の査定は、診断的評価、形成的評価、総括的評価を組み合わせて実施する。診断的評価として、事前課題の内容や小テストをもとに、授業に臨む学生の理解度を査定する。形成的評価として、課題(小テストやレポート、発表、リフレクションシート等)を通して、学生の理解力、思考力、表現力を把握し、その結果を早期にフィードバックしながら学習成果の達成状況を査定する。さらに総括的評価として、シラバスに提示された授業科目の到達目標に対する評価や学生の授業アンケートの結果をもとに、科目毎の学習成果の達成状況を査定する。なお、査定にあたっては、「看護学科カリキュラム・マップ」を参考にする。

■CAP制

看護学科では、1学期間に履修できる単位数の上限を26単位と定めています。

専攻科地域看護学専攻

■学習成果

専攻科地域看護学専攻では、教育目的に基づき、学習成果を以下の通りに定める。

- ①修得してきた看護学と公衆衛生看護学の知識・技術を用いて個人や家族、集団、地域を統合的に理解し、量的質的データに基づき、対象の健康課題を明確にできる。
- ②健康課題の解決のために対象や地域住民、関係機関とのパートナーシップのもとに必要な支援を導き出すことができる。
- ③社会の動向や公的機関の役割を理解し、地域診断に基づいて先を見通し、問題解決のために新たな方策を創造することができる。
- ④他者との協働関係のもと、根拠と説得力をもって自身の考えを伝え、リーダーシップを発揮することができる。
- ⑤対象のもつ権利を擁護する看護専門職者としての役割を意識し、倫理的な問題に対して、多面的に物事を捉え、状況に応じた最善策を見出すことができる。

- ⑥看護に関する自らの疑問や健康に関連する事柄についてデータを収集し、科学的な根拠に基づいて論理的に分析することができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

専攻科地域看護学専攻では、地域で生活している人々の健康増進を目指すとともに地域社会全体の健康水準の向上に貢献できる看護専門職者として活躍できるよう、以下に示す知識と技能、態度を習得した者に課程修了を認定する。加えて独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たした者には、学士(看護学)の学位を授与する。

- ①人々の生活と健康に関する解剖生理学的知識や行動心理学的知識、公衆衛生看護学の知識を基盤に、多様な背景をもつ対象者の主体性や価値観を尊重して信頼関係を築き、健康的なより良い生活に導くための支援ができる力を有する。
- ②国や地方自治体が掲げる健康施策の理解と将来的な予測に基づき、地域の健康課題を明確にし、他者と連携・協働しながら組織的に課題を解決するための企画力や調整力、分析力、リーダーシップを有する。
- ③地域の中にある倫理的な問題に対して、看護専門職者として権利擁護の視点から考え、常に自身の行動を振り返って考えることができる力を有する。
- ④自らの疑問や看護上の課題に対する探究を通して、論理的思考力や表現力を高め、看護の質の向上に向けて主体的に活動できる力を有する。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

専攻科地域看護学専攻では、教育目的に示した保健師と養護教諭一種(養護教諭二種免許状取得者のみ)を養成するため、以下の方針に基づいて、公衆衛生看護に関する基本的知識を、講義、演習、実習と段階的・系統的に応用し、実践力を獲得できるよう教育課程を編成し、実施する。

- ①公衆衛生看護学概論を基盤に、対象理解とアセスメント、家庭訪問、健康相談、健康教育、保健計画、地域組織活動、対象に応じた保健指導といった公衆衛生看護活動を展開できる専門科目を設定し、保健師としての基本的な知識と技術を習得するための教育を実施する。
- ②行政機関の役割を理解し、多様な側面から地域の健康課題を明確にし、健康的な生活に向けて支援を検討することができる視点を養えるよう、保健医療福祉行政や統計に関する専門科目を設定し、根拠に基づき施策立案・事業化ができる行政職としての知識と技術を習得するための教育を実施する。
- ③既修得科目を統合して、対象や地域の状況に合わせた公衆衛生看護活動を実践する力を養えるよう、臨地実習の前後で学ぶ専門科目を設定し、行政の保健師の役割と公衆衛生看護活動における倫理について理解を深めるための教育を実施する。
- ④公衆衛生看護の知識と理論を活かした保健師活動が実践できるよう、臨地における実習を設定し、指導を受けながら公衆衛生看護活動を具体的に理解し、倫理的な視点をもち、人々と協働して看護が実践できるための教育を実施する。
- ⑤国際化・情報化社会に対応する外国語及び情報処理の知識や論理的思考力、表現力などの学士力を身につけるための科目を設定し、看護専門職者として自律し主体的に活動できる力を強化するための教育を実施する。

上記①～⑤の方針のもと、獲得された学習成果を専攻科地域看護学専攻・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

専攻科地域看護学専攻では、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、以下の人を入学者として求めている。

- ①個人・家族・集団・組織・地域の健康状態を分析し健康課題の発見に主体的に取り組める人
- ②個人・家族・集団・組織・地域の健康課題の解決に向けて熱心に取り組める人
- ③健康課題の解決に向けて他者とともに協力して取り組める人

そのため、以下の準備が出来ている人を入学者として求めている。

- ①看護学の基礎的な知識と技術をもち、地域で生活する人々や地域全体の健康に関心をもっている人
- ②論理的な思考力や表現力を備え、人々の健康や看護に関する課題について探究する意欲のある人
- ③人々と協力しながら、理想に向かって主体的に学び続ける意欲のある人

以上の人材として、入学するまでに次の分野の知識や技能、態度を有している人が望まれる。

基礎分野：人間と社会の仕組みを理解する幅広い視野と、科学的思考力及びコミュニケーション力、主体的な判断と行動力、情報通信技術(ICT)が活用できる基礎的能力
専門基礎分野：看護実践の基盤となる知識及び臨床判断能力、社会資源を活用するための知識と基礎的な能力、主体的な学習態度
専門分野：看護学全般の知識、専門基礎分野での学びを基盤とする看護実践



能力、看護の知識と実践を結びつける論理的思考力、倫理的判断力、他者と協働する力と協調性、表現力、既修得科目の知識を用いて粘り強く看護実践を行うための意欲と洞察

入学者選抜にあたっては、特別入試では看護学科において履修した科目の成績から看護学全般に対する知識や技術の習得状況を把握する。また、小論文試験と面接により、論理的な思考力や表現力、地域全体の健康への関心度、協調性、主体的に学び続ける意欲等について把握し評価する。

また、本学看護学科卒業以外の学生へも門戸を広げ、多様な背景をもつ学生同士が刺激しあいながら共に学べるよう一般入試を設定する。一般入試では、学力試験と小論文試験、面接を行い、看護学の基礎的な知識、論理的な思考力、表現力、地域で生活する人々や地域全体の健康への関心度、協調性、主体的に学び続ける意欲等について把握し評価する。

高知学園大学
高知学園短期大学で
I Love Gakuen, I want to learn more.

を学ぶ。

Open Up
The
Future

ミライを拓こう！



実習は初めてのことは
ばかりで少し戸惑うけど
先生方がていねいに
教えてくれるよ!



Hello
Teachers

私たちといっしょに
学びましょう!

高知学園大学
高知学園短期大学で
I Love Gakuen. I want to learn more.



を学ぶ。

楽しく、わかりやすく
時に厳しく
指導してくれるよ!



人の健康を毎日食する栄養面から実
現させることが評価され、近年、医療
と双壁の考え方で人の「いのち」を預
かる重要な職種になっています。管理
栄養士、栄養教諭(一種)、家庭科教
諭(一種)になるための道筋を全力で
サポートしていきます!

高知学園大学 健康科学部 管理栄養学科



高知学園大学 健康科学部 臨床検査学科



医療現場で欠かすことのできない臨
床検査技師。様々な病気やその原因
を追究する上でも、臨床検査技師に
求められる期待はさらに高まってい
ます。私たちと一緒に臨床検査技師
を目指しましょう!

高知学園短期大学 幼児保育学科



未来を支える子どもたちを健やか
に、のびのびと育てるために幼児期
の教育はとても大事です。附属高知
幼稚園とも連携し、実践の教育環境
を整えているのが特徴です。私たちと
一緒に学びましょう!

高知県内唯一の歯科衛生士を養成す
る大学です。学科設立から35年の実
績と医療機関との様々な連携など、
目指すキャリア育成を叶えるための
カリキュラムを用意して、あなたの夢
を実現させます!ぜひ一緒にがんばっ
て学びましょう!

高知学園短期大学 歯科衛生学科



あなたは
何を
学びますか?

医療現場は年々、高度な医療に適した
人材が求められています。私たちは看護
の基礎的な学びから最新の高度医療
まで幅広く学ぶことができ、多様な社会
に対応できる「プロフェッショナル」を育
成していきます!一緒に看護師、保健
師、養護教諭(一種)を目指しませんか。

高知学園短期大学
看護学科・専攻科地域看護学専攻



大学。育成する

Career Support

キャリアセンター

将来のことで悩んだり、就職活動のことで不安なことなど、親身になって相談にのってくれるよ。



社会へ巣立つ前に必要なチカラを身につける お手伝いをします。

豊かな教養を身につけたスペシャリストは、社会で求められる人材です。本学は、学生の皆さん一人ひとりが社会人として、また専門職として自立するために必要な基盤である資質能力の獲得ができるよう教育体制を整えています。

「人生100年時代の社会人基礎力」として、経済産業省から3つの能力〈前に踏み出す力〉〈考え抜く力〉〈チームで働く力〉と3つの視点〈どう活躍するか【目的】〉〈何を学ぶか【学び】〉〈どのように学ぶか【組み合わせ】〉が示されました。本学では、それらキャリア形成基礎力に「感じ広げる力」を加え、学生が講義や実習、課外活動など大学生活の様々な場面を通して学び、さらにリフレクションしながら前向きに進んでいけるようサポートしていきます。

技術革新によって知識やスキルが次々と変化する時代、自然災害の発生など複雑で不透明な時代を生き抜くためには、自らのキャリアを自らが考え、それを実現するために必要なスキルを身につけ、常に学び続けながらアップデートしていくことが不可欠となります。本学では、そのような力を身につけた専門的職業人として、地域においてなくてはならない存在として成長していけるよう見守り、支援していきます。



社会の第一線で働く講師陣のキャリアセミナー（実績より）



希望職種に
就職
しているのが
本学の強みです。



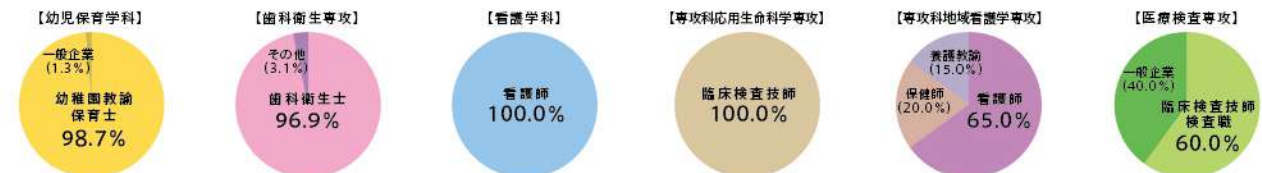
2009年度より

13年連続 100%の就職率。



就職活動を行う前に自分自身をしっかりと見つめ、理解することが大事です。学生生活をどのように過ごし、学んだかは卒業後の人生と大きな関わりを持てます。就職そのものが人生の目的ではなく、仕事とキャリア（人生）という大きな人生設計と捉えて「自分らしい人生のあり方」を支援するための、さまざまなプログラムや情報提供をしています。

主要学科就職職業別構成 2021年度実績



〈就職・進学先〉※2021年度実績

■ 幼児保育学科 (幼稚園教諭、保育士、その他)

高知市職員
いの町職員
津野町職員
四万十町職員
南国市職員
香南市職員
香美市職員
田野町職員
室戸市職員
松野町職員
加古川市職員
学校法人校聖学園 土佐幼稚園
学校法人沢田学園 幼稚園型認定こども園 みさと幼稚園
学校法人 土居学園 くるみ幼稚園
学校法人 宮地学園
学校法人 やまもも学園
学校法人 若草幼稚園
学校法人高知学園 高知学園短期大学附属高知幼稚園
学校法人清和幼稚園
にっしん幼稚園
社会福祉法人朝倉福祉会 朝倉中央保育園
社会福祉法人あさひの会 あさひの保育園
社会福祉法人和香会 和香保育園
社会福祉法人長い坂の会 うらら保育園
有限会社つくしみの保育園
社会福祉法人大塚福祉協会
社会福祉法人南門市社会福祉協議会 同豊保育園
社会福祉法人 おさなごの園
社会福祉法人土佐鶴田会 鶴田保育園
社会福祉法人 高知福祉事業財団
社会福祉法人 高知慈善協会
社会福祉法人みその児童福祉会 高知聖園天使園
社会福祉法人みその児童福祉会 高知聖園ベビーホーム
社会福祉法人みその児童福祉会 高知聖園マリア園
社会福祉法人五台山保育園振興会 五台山山荘保育園
社会福祉法人ふるさと自然村 御免野田保育園
社会福祉法人城山保育園
社会福祉法人 瀬戸東保育園
社会福祉法人 新倉くすのき保育園 たかひる乳児保育園
社会福祉法人高須福祉会 高須保育園
社会福祉法人種崎福祉会 種崎保育園

株式会社ニチイ学館 ニチキッズ宮南保育園
社会福祉法人 高知保育センター のぞみ保育園
社会福祉法人針木福祉会 針木保育園
株式会社びすたらん 認定こども園びすた保育園
社会福祉法人 一ツ橋保育園
社会福祉法人芳公会 ひまわり保育園
社会福祉法人福井保育園 福井保育園
社会福祉法人高知福祉協会 ふくし園
生涯学習健康センターキラヴィ
社会福祉法人 らいこうじ学園
社会福祉法人中野社会福祉協会 かんた保育園
株式会社トリー

■ 医療衛生学科 歯科衛生専攻 (歯科衛生士、その他)

青木歯科
安芸やまもと歯科
乾歯科
AAI 橋本歯科医院
医療法人口誠会 大野歯科
医療法人大原会 大原歯科医院
医療法人茂見会 阿村歯科医院
医療法人 かねこ矯正歯科
橋本歯科クリニック
医療法人くすめ会 橋本歯科診療所
公文歯科
高知駅つちもと歯科
医療法人翠松会 こまつ歯科クリニック
島田歯科
医療法人橋本会 橋本歯科医院
医療法人橋本会 橋本歯科クリニック
医療法人 堀和会 田岡歯科・矯正歯科クリニック
たにもと歯科・矯正歯科
西内歯科医院
西内歯科クリニック
平和歯科診療所
ほわいと歯科
医療法人 悠久会 宮川歯科医院
安田歯科
医療法人 幸穂会 山下歯科
医療法人 社田歯友会 赤羽歯科

■ 看護学科 (看護師)

医療法人新松田会 聖宮病院
医療法人武田会 高知院川病院
高知県立療育福祉センター
日本赤十字社 高知赤十字病院
医療法人社団晴緑会 高知総合リハビリテーション病院
医療法人 尚賢会 高知高須病院
医療法人 吉林会 高知ハーモニーホスピタル
医療法人 野並会 高知病院
医療法人 三和会 国吉病院
医療法人 白菊会 白菊病院
医療法人 日井会 田野病院
社会医療法人 近森会 近森病院
土佐市立土佐市民病院
特定医療法人 久会 回南病院
医療法人 公世会 野市中央病院
医療法人 おくら会 藤戸病院
社会医療法人 仁生会 細木病院
医療法人 忍泉会 リハビリテーション病院 すこやかな社
社会福祉法人 みその児童福祉会 高知聖園ベビーホーム
一般社団法人 高知市アスリートセンター 高知市アスリートセンター
医療法人 誠会 誠会病院
医療法人 橋本会 橋本病院
医療法人 鉄橋会 亀田総合病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 南西労災病院
医療法人 光栄会 光栄病院
公益財団法人 甲南会 甲南医療センター
地方独立行政法人 神戸市市民病院機構
独立行政法人 国立病院機構 西国こどもとおとなの医療センター
医療法人 誠会 城東中央病院
地方独立行政法人 市立東大阪医療センター
社会福祉法人 兵庫社会福祉事業団 兵庫リハビリテーション病院
医療法人 紅梅会 福山記念病院

■ 専攻科応用生命科学専攻 (臨床検査技師)

高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
公益財団法人 高知県総合保健協会
高知大学医学部附属病院
医療法人 五月会 須崎くろしお病院
医療法人 日井会 田野病院

株式会社 LSI メディエンス
独立行政法人 国立病院機構 東徳島医療センター
株式会社 四国中核
公益財団法人 とくしま未来健康づくり機構
株式会社 ビー・エム・エル

■ 専攻科地域看護学専攻 (看護師、保健師、養護教諭)

田野町職員
四万十町職員
福岡市職員
岩山市職員
高知県教育委員会
高知県立あさ総合病院
高知大学医学部附属病院
日本赤十字社 高知赤十字病院
医療法人 尚賢会 高知高須病院
独立行政法人 地域医療機能推進機構 高知西病院
社会医療法人 近森会 近森病院
川崎医科大学総合医療センター
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

■ 医療衛生学科 医療検査専攻 (臨床検査技師、その他)

高知県立増子けんみん病院
医療法人グリーンハウス クリニックグリーンハウス
医療法人 近藤会 清和病院
社会医療法人 近森会 近森病院
株式会社 四国中核
公益財団法人 高知県総合保健協会
株式会社 西日本セイス
株式会社 よどや

■ 進学

高知学園短期大学 専攻科応用生命科学専攻
高知学園短期大学 専攻科地域看護学専攻
高知大学大学院総合人間生命科学部研究科科学専攻
社会医療法人 生員会 専門医療 ヘルランド看護専門学校

※順不同、県内外含む

● 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構の奨学金は定期的な採用もありますが、突発的な理由で修学が困難になった場合など、本学が窓口となって相談にのり、修学支援していきます。

● 学生生活のサポート

本学の学生は、広い教養と社会性を身につけると共に、専門的な知識・技能や取得した資格を活用し、就職に挑戦しています。大学生の就職は非常に厳しい中において、本学で学んだ優位性により各学科共に就職希望者全員が就職を果たしています。

● 同窓会会長表彰、同窓会表彰

在学中に、文化・スポーツ及び社会活動において特に功績のあった学生に対し、本学同窓会が表彰します。その中でも特に顕著な功績があった学生は、同窓会会長表彰として表彰します。

※各種奨学金の詳細はP.60にご案内しています。

VOICE

センパイのメッセージ



管理栄養学科 2年
長崎 佳保理

この大学に入学して

この大学を志望した理由として、4年生の管理栄養士養成施設として新設されたことが魅力的でした。元々、高校での実験や研究から食品の成分に興味を持ち、食事や栄養に関心が深まっていた。

入学してみて感じることは、先生との距離が近い担任制で、大学生活や進路のことなど相談することができるということです。授業は忙しく、レポートを作成するために、ゼミ室や図書館で時間を過ごす日もあります。それでも、友達と切磋琢磨しながら学習にとりくんでいるという実感があち充実しています。

授業は講義以外の実験や実習も多く、最近受けた実習では、自分で献立を立て、美味しさはもちろん、エネルギーや塩分量、一食分の量が対象者に適しているかななどを多角的にみていきます。また、来年3年次は実際の現場に出て学ぶ臨地実習や教育実習が始まる予定です。

私は、教職課程を履修していて、栄養教諭一種免許と中・高等学校教諭(家庭科)の免許状を取得したいと頑張っています。4年次には就職活動や管理栄養士国家試験にトライします。1・2年次はその土台となる科目を学んでいるので、日々の授業を大切に知識の定着に力を入れて過ごしています。将来、管理栄養士として働ける日を楽しみにしています。

臨床検査学科を目指すみなさんへ

私は、幼い頃から医療系の仕事に興味があり、進路を考える上で、地元のオープンホスピタルに参加させて頂きました。そこで、顕微鏡を覗かせて頂いた時、目で直接見えないものを、顕微鏡を通して観察し病気のサインを見つけることにとても魅力を感じ、臨床検査技師を目指そうと思いました。

入学当初は、愛媛県出身ということもあり、友達ができるのか、勉強についていけるのかなど、たくさんの不安や心配がありましたが、今は、とても素敵な友達と先生方に恵まれ、毎日、充実しています。

高校生の頃から変わったことは、大学に入って学ぶ楽しさを知ったことです。高校生までは、勉強はあまり好きではありませんでしたが、入学してからは、「なぜ」、「どうして」と、たくさんの疑問を持ち、その事について調べたり、先生方に聞いたりして、知る楽しさを知り、その知る楽しさが、学ぶ楽しさに繋がっています。大学では各分野を深く掘り下げて学びますが、その学んだことが、他の分野の知識と繋がった時が勉強していて、楽しいと感じる瞬間です。

将来は、正確に検査を行うことができ、人に信頼されるような臨床検査技師になりたいです。そのために、大学生活で、たくさんの知識と技術を身につけられるように、努力していきたいです。



臨床検査学科 2年
安藤 聡美

VOICE

卒業生のメッセージ

目指せ、プロフェッショナル!

本学での豊かな「知識」と専門課程の「学び」を兼ね備えた豊かな社会人の礎をつくります。みなさんの先輩たちが社会の第一線で活躍しています。



認定こども園えだがわ
大久保 和子

私は小さい頃から幼稚園の先生になることが夢でした。そして今、その夢を叶え保育者として3年目になりました。高知学園短期大学幼児保育学科での2年間は、保育の専門的な知識や技能の習得はもちろん、実習での学びが特に大きかったです。また、そこで出会った大切な友達、今となっても仕事の楽しさや大変さなどなんでも共感できる存在です。

ある授業の中で出てきた言葉があります。それは「学び続ける保育者」という言葉でした。私はそのときからずっとこの言葉を大切にしています。働き始めてから初めてのことはばかりで毎日学びだとも思います。社会が変化するように子どもたちや保護者の方も変化しています。

実際、自分が子どものときとは保育だけでなく社会が大きく変わっていると実感しているからこそ、子どもたちが生きている「今」に合った保育をしていきたいと思っています。そのために必要になってくるのが「学び続ける」ということです。日々の保育、そして様々な研修など学びの機会を一つ一つ大切に自分のものにして、保育者として成長していきたいと思っています。そのような気持ちで毎日過ごしているのも、きっかけになった授業のおかげです。とても感謝しています。高知学園短期大学で仲間たちと学び、素敵な保育者になる夢を叶えてみませんか。

高知学園短期大学
幼児保育学科卒業(49期生)



ひゃっこく歯科
中山 あや

私は歯科衛生士という仕事を両親に勧められたことがきっかけで興味を持ち、素敵な仕事だと思い目指すようになりました。学短に入学し、歯や全身について学んでいく中で、「お口の健康」がどれほど大切なのかを知ることができました。臨床実習では、不安な気持ちもありましたが、実際に医療の現場を目で見ることで、座学だけでは学べない事を理解することができました。

専門的な勉強は大変でしたが、同じ目標に向かって頑張っている友達に出会い、助け合いながら楽しく充実した3年間を過ごすことができました。また先生方も親身になって勉強を教えてください、就職の際にも色々手助けをしてくださいました。そのおかげで国家試験に合格し、今は念願の歯科衛生士として勤務しています。毎日色々な発見があり、とても勉強になります。

就職して最初は戸惑うことが多かったのですが、職場の先輩方が優しく教えてくださり、毎日頑張っています。近年、歯科衛生士という仕事はさまざまな分野で活躍しており、人々の健康を支えるとても魅力的な職業です。みなさんも学短で歯科衛生士を目指し、私たちの歯科衛生士仲間になりませんか。仲間が増えるのを楽しみにしています。

高知学園短期大学 医療衛生学科
歯科衛生専攻卒業(50期生)



近森病院
門田 航

私は現在急性期病院の整形外科で勤務しています。私が高校3年生の時、まだ具体的な将来の看護師像が見つかっていませんでしたが、高知学園短期大学の看護学科は、3年間で看護師の受験資格が得られ、さらに地域について学びたい人は専攻科に進学し、保健師の資格を取得できるということを魅力に感じ進学を決意しました。

当時は、保健師の資格も取ろうと思い入学しましたが、授業や実習を通して、看護師のケアが患者さんに与える影響の大きさや重要性に気づき、次第に「早く現場に立って、患者さんの役に立ちたい!」と思うようになり、3年で卒業し看護師となる道を選びました。

しかし、実際には、思い描いていた看護師像とのギャップに悩み、患者さんのためにできることがもつとあるはずだと思い始めました。そんな時、自施設で専門的な知識及び技術の獲得を目的とした「特定行為研修」が開講されることとなり、受講に踏み切りました。現在、研修を修了し、一部、医師の判断を待たずに診療補助を行うことができる「特定看護師」として病棟の垣根を超え、活動の場を広げて多くの患者さんと関わるべく、日々邁進しています。看護師は、とてもやりがいのある仕事です。皆さんも是非、高知学園短期大学で看護師を目指してください。

高知学園短期大学
看護学科卒業(4期生)

豊かな学びを創り出す環境と設備



実習室(8号館)

高知県産木材を多用した実習室は、無機質になりがちな空間に温もりと落ち着きを与えてくれます。また、外部とつながる開放的なガラスエリアは、外の気候の変化を感じたり四季の移ろいを楽しむことができる環境を実現しました。1階は生化学、臨床化学、基礎栄養学などの実習に2階は血液検査、細胞組織標本の染色や観察、人体の構造学などの形態系の実習に、3階は免疫学、微生物学、輸血・移植検査学等の生体防御に関する検査の実習に使用します。



歯科臨床実習室(5号館)

技術の習得のため歯科医院と同じ最新の設備があります。



基礎看護実習室(3号館)

実際の病院に近い設備を備えた実習室で、基礎的な看護技術を身につけます。



生理系実習室(2号館)

心電図、脳波、超音波検査等の生理機能検査や画像検査の実習、人体の機能学実習を行います。



給食経営管理実習室(5号館)

本格的な厨房や配膳機を備えて、集団給食の調理・運営・管理などを実践しながら学びます。



調理実習室(5号館)

IHクッキングヒーターで安心して調理が可能です。明るくクリーンな実習室です。



食品学実習室(2号館)

食品学総論、各論および食品加工学で学んだ知識を実際に体得し、経験しながら学びます。

豊かな学びを創り出す環境と設備



大講義室(7号館)

200インチリアプロジェクターなどを完備した、350名収容の大講義室です。講演会、研究発表会、学会、継承式、飛翔式、宣誓式などに使用されます。



パソコン実習室(5号館)



講義室(8号館)



講義室(1号館)

高知県初、木造3階建の校舎

8号館は、主要構造の一部にCLTを用いた「木造3階建の校舎」です。CLTの国内最大寸法12mの壁柱を採用し、三層階通しの、日本でも極めて珍しい工法を用いました。断熱性や遮炎性に加え、高耐力を有したゆとりある実験研究室など、校舎全体が木の温もりに包まれたやさしい学習環境を実現します。

- ウッドデザイン賞2020 入賞
- 令和2年度木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞
- 第18回高知県木の文化賞



キャンパスライフをサポートする環境



8号館



空中回廊



711講義室(7号館)



学生食堂(1号館)

学食人気メニュー
学短ランチが
オススメですよ～



日替りランチやオリジナル
のお弁当など、手頃
な価格で味わえます。

※メニューは一例です



ML教室(1号館)



パティオ



和室



乙女の像(学園内パティオ)



正門

災害への備え

学舎の耐震化をはじめ災害への備えも万全。

年に一度の避難訓練や防災用の備品庫を学内各所の見える所に配置することで、日頃から災害に対する危機意識を高めるとともに、緊急地震速報器や防災マニュアル等で万全の対策を整えています。



各棟に備えた防災車

防災
タタメット

耐震化された校舎

主体的な学びをサポートする環境

図書館
Library

本学図書館は、食・教育・医療分野を中心に、8.5万冊の図書や、学術雑誌(約100種類)、視聴覚資料(1,000点以上)を整備しています。とくに食と栄養の分野、幼児教育・保育関係および臨床検査・歯科衛生に係る資料の充実ぶりが高知県内では際立っています。またパソコンコーナーでは、本学の専門に関わるデータベースを利用して、最新の電子ジャーナルにアクセスすることもできます。

そして図書館では、上記以外にも、閲覧スペースで一般の本や雑誌を読んだり、共有スペースや個人ブースで勉強をしたり、視聴覚ブースでDVDやCDを視聴したり、グループ学習室でプレゼンテーションやディスカッションをしたりなど、さまざまに過ごすことができます。つまり図書館は皆さんの学ぶ意欲を後押しする、重要な拠り所となります。

そもそも大学は、自ら主体的に物事を調べ、研究し、思考を深めながら、その解決の道を模索していくところです。図書館は、そのような学びをサポートする場であり、かつ心の豊かさを深め、良書に出会う場でもあります。図書館が皆さんにとって実り多き場所となるよう、図書館スタッフ一同がサポートさせていただきます。



グループワークルーム



地域との連携(活動実績)



健康教育演習Ⅰ・Ⅱ

高知学園短期大学は昭和50年頃から、現在の歯科衛生学科が歯科保健活動をスタートし、現在は全学科で健康教育に取り組んでいます。



子育て応援団すこやか



毎年開催されている「子育て応援団すこやか」では絵本の読み聞かせや、手遊びなどのボランティア活動を続けています。

歯っぴいスマイルフェア



高知市歯科医師会主催のイベント「歯っぴいスマイルフェア」に本学の学生と教員が歯からはじまる健康づくりに本学の専門性を活かし共催しています。

イキイキ健康フェア



平成27年から地元の旭地区を中心に65歳以上の方々を対象にして、健康に関する「イキイキ健康フェア」を開催しています。近隣地域の方々と学生達の笑顔があふれる楽しいイベントで、本学の活動の一端も紹介し、ふれあいを深めています。

臨床検査をのぞいてみよう



平成26年から3年間、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」に採択され、次世代を担う臨床検査技師育成のために、高校生を対象に体験実習「臨床検査をのぞいてみよう!」を開催しました。平成29年からは、本学主催の体験イベントとして継続して開催しています。

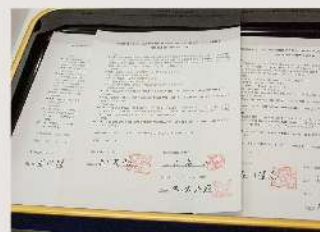
大学、医療機関との連携

北京大学口腔医学院との連携



北京大学口腔医学院と教育及び学術研究の分野における協力関係を推進するため、学術交流協定書調印式が執り行われ、グローバルな視点で学術交流がスタートしています。

高知医療センターとの包括的提携



教育・学術研究推進のために、高知医療センターと本学並びに高知リハビリテーション学院の包括的連携調印式が行われました。

各種奨学金のご案内



■高等教育の修学支援新制度

授業料・入学金の免除または減額(授業料等減免)と給付型奨学金の支給。一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとなっています。高知学園大学は令和元年12月20日付け、高知学園短期大学は令和元年9月20日付けで高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定を受けました。

【文部科学省 高等教育の修学支援新制度ホームページ】
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



■日本学生支援機構 奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する制度です。

【独立行政法人日本学生支援機構】
<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>



■高知県保育士修学資金貸付

この制度は指定保育士養成施設に在学し、保育の資格取得を目指す学生に対し就学資金を貸付け、もってこれらの者の修学を容易にすることにより、質の高い保育士の養成確保に資することを目的とする制度です。

【社会福祉法人高知県社会福祉協議会】
<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/>



■高知県歯科衛生士養成奨学金制度

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関で、歯科衛生士の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の歯科衛生士の確保充実を図ることを目的とするものです。奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関において歯科衛生士として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

【高知県健康政策部 保健政策課】
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131601/2018031600036.html>



■高知県看護師等養成奨学金制度

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関等又は訪問看護ステーションで、看護師・准看護師の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の看護師等の確保充実を図ることを目的とするものです。奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関または訪問看護ステーションにおいて看護師、准看護師として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

【高知県健康政策部 医療政策課】
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131301/kango-syougakukinn.html>

